

10-World Champion YOKOMO



MR-4TC SD SSG SPECIAL

2003.4.4

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい

■ 走らせる手順 ■

- ① タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。（送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。）
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

■ 走行終了手順 ■

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

■ バッテリーの取り扱い ■

（バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

■ モーターの取り扱い ■

（モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3～5V程度でから回しして下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC SD SSG SPL] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ
TIRES
- 走行用ボディー (ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

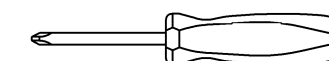
- | | |
|-----------|--------------|
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール | WHEELS |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

[MR-4TC SD SSG SPECIAL]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

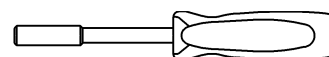
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC SD SSG SPECIAL] will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

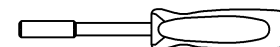
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



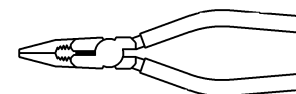
ドライバー (大, 小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



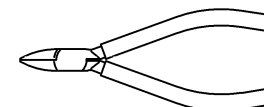
ボックスレンチ (7.0mm)
NUT DRIVER (7.0mm)



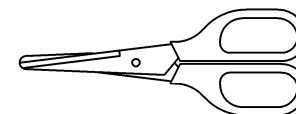
ボックスレンチ (5.5mm)
NUT DRIVER (5.5mm)



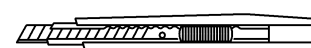
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



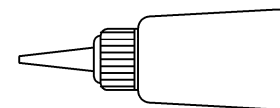
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



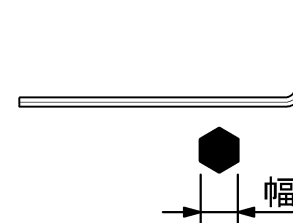
カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

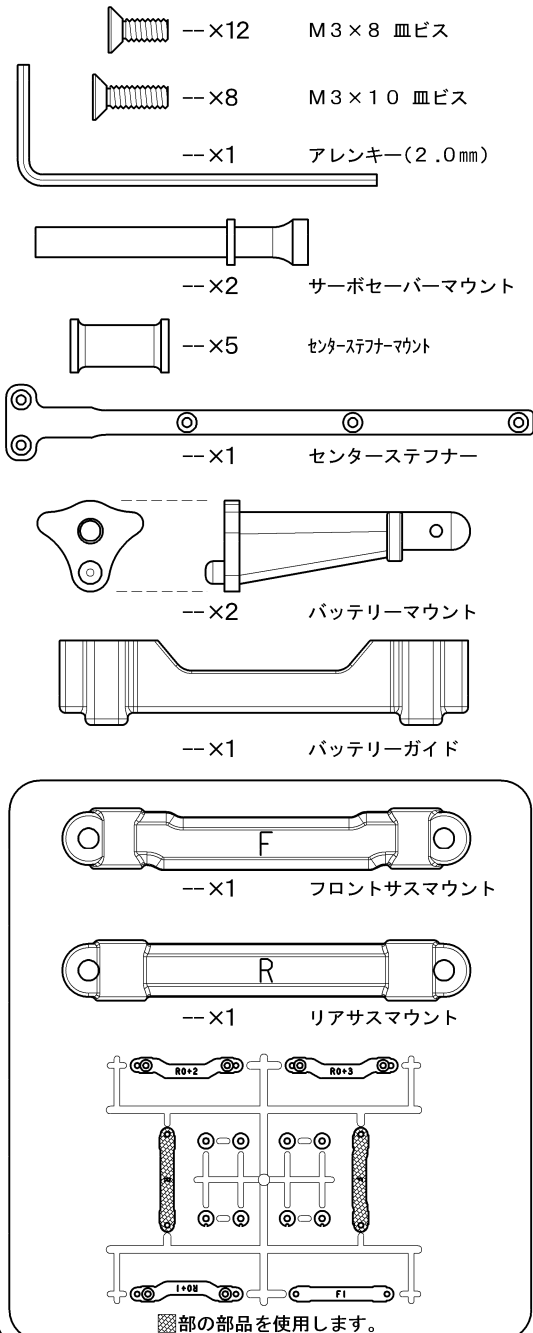
■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)

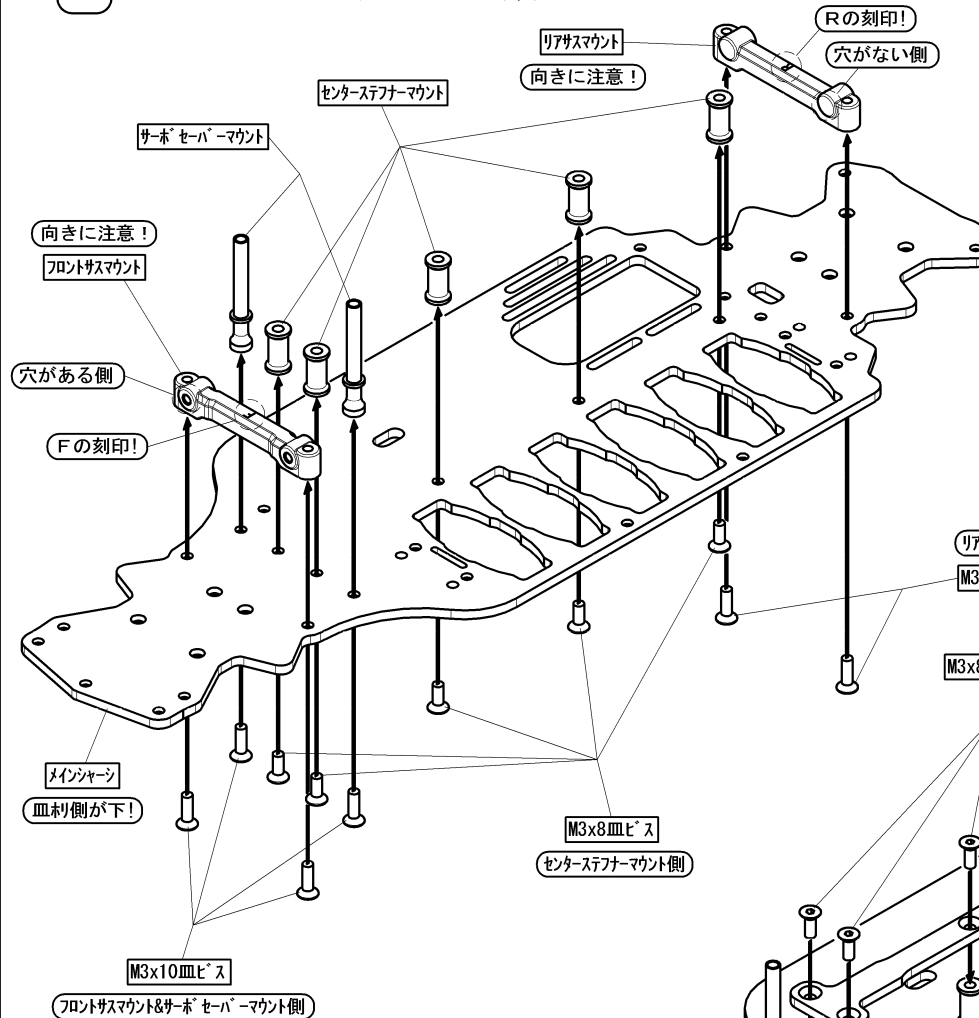


六角レンチ
ALLEN WRENCH
(2.5mm)
(2.0mm)
(1.5mm)

【袋①の内容】



1 サスマウント、ポスト類の取付



注意! ①(フロント&リアサスマウント)には向きがありますので、取付には注意して下さい。

②セパレートバッテリーを使用する場合は、必ずバッテリー Slots の角落しを行って下さい。(角を落さず使用するとバッテリーチューブが破れ大変危険です。)

③ストレートバッテリーを使用する場合は(バッテリーガイド)を必ず取付けて下さい。

【取付け前にちょっと注目!】

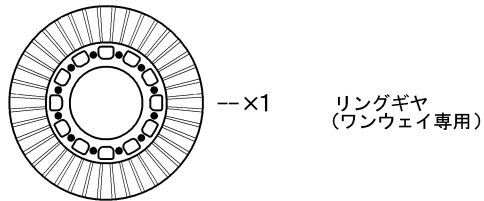
キットに付属する全ての3mm径ネジは、頭の部分が六角タイプ(●)になっています。ネジを回す時は、付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのワークスレンチ2.0mm(YT-W200 ¥980)をお買い求め下さい。

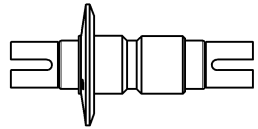


【 袋② の内容 】

〔フロントワンウェイ用パーツ〕



—×1 リングギヤ
(ワンウェイ専用)



—×1 フロントワンウェイAssy

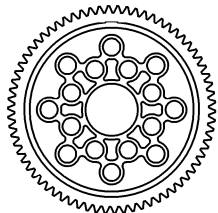


—×3 M2×4 ナベビス

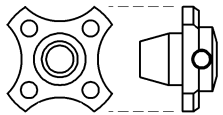


—×2 Oリング(透明)

〔スパーギヤ用パーツ〕



—×1 70T スパーギヤ



—×1 スパーギヤ ハブ



—×4 M3×6 ボタンヘッドビス



—×1 M3×4 セットスクリュー

—×1 アレンキー(1.5mm)

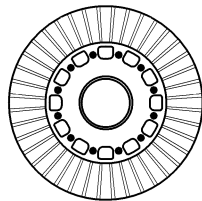


—×2 5×8ベアリング

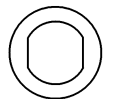


—×4 10×15ベアリング

〔リアボールデフ用パーツ〕



—×1 リングギヤ
(ボールデフ専用)



—×2 デフリング



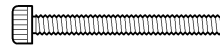
—×12 デフボール



—×2 スラストワッシャー



—×8 スラストボール



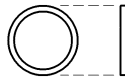
—×1 キャップスクリュー



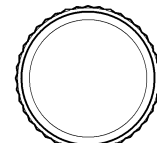
—×1 M2.6 ナイロンナット



—×1 デフスプリング

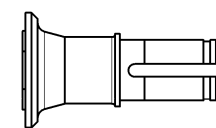
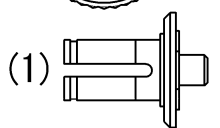


—×2 デフジョイントリング



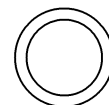
デフルーブ(白)
(白色のグリス)

ブラックグリス(黒)
(黒色のグリス)



(1) (2)

—×1枝 デフジョイント

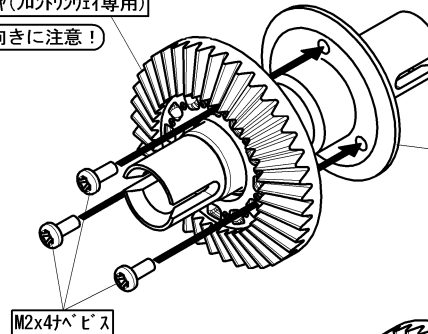


—×4 10×13シム

2 フロントワンウェイの組立て

リングギヤ(フロントワンウェイ専用)

向きに注意!



フロントワンウェイAssy
向きに注意!

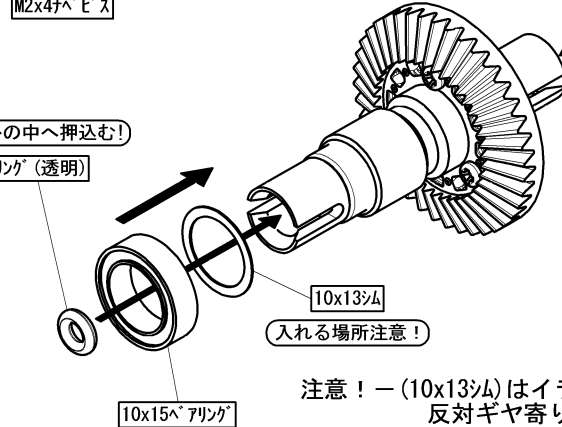
ジョイントの中へ押込む!

Oリング(透明)

M2x4ナベビス

ジョイントの中へ押込む!

Oリング(透明)



注意! — (10x13シム) はイラストの様に片側のみ入れ
反対ギヤ寄り側には入れないで下さい。

3 スパーギヤの組立て



3x4セットスクリュー

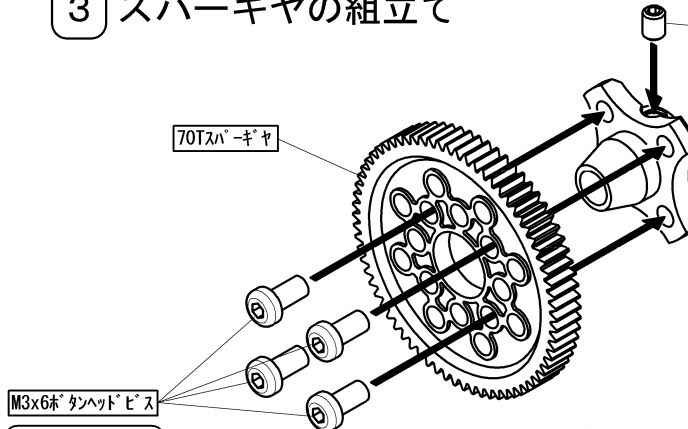
仮止程度にねじ込む!

70Tスパーギヤ

スパーギヤハブ

M3x6ボタンヘッドビス

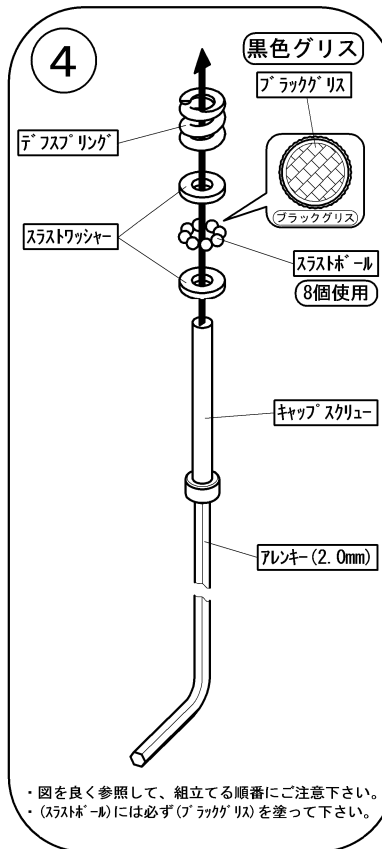
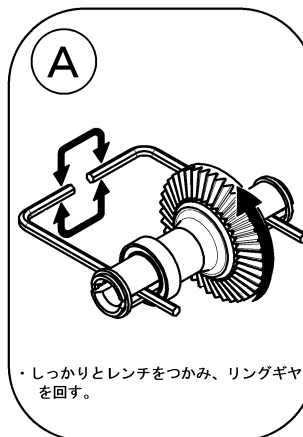
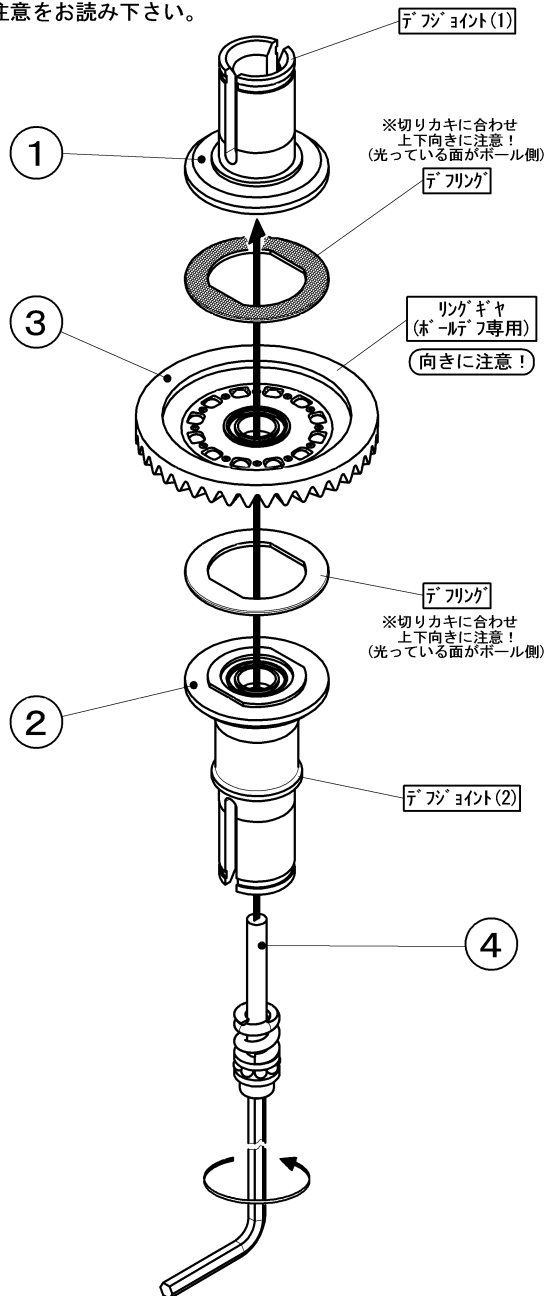
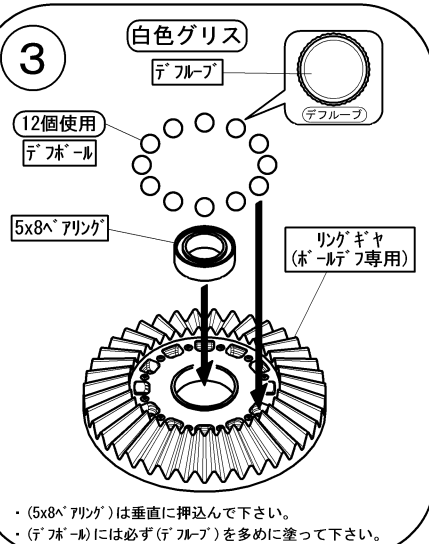
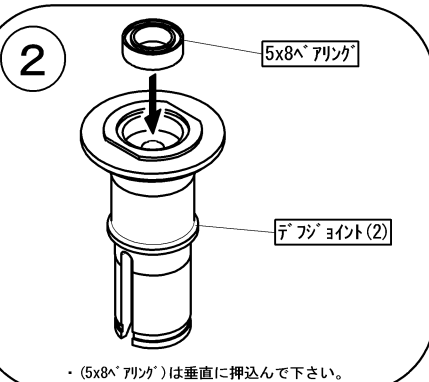
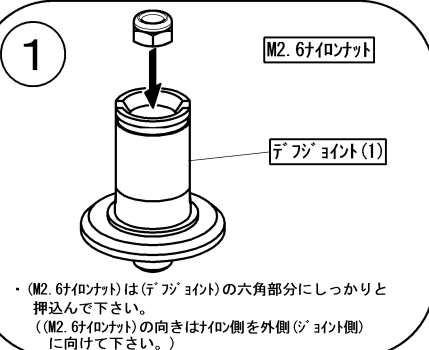
均一にねじ込む!



注意! — (70Tスパーギヤ) に (スパーギヤハブ) を取付ける際、
互いのネジ穴同士が合っている事を確認
し、(M3x6ボタンヘッドビス) 4本を均等に少し
づつ、まんべんなく締め付けて下さい。

4 リアボールデフの組立て

※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。

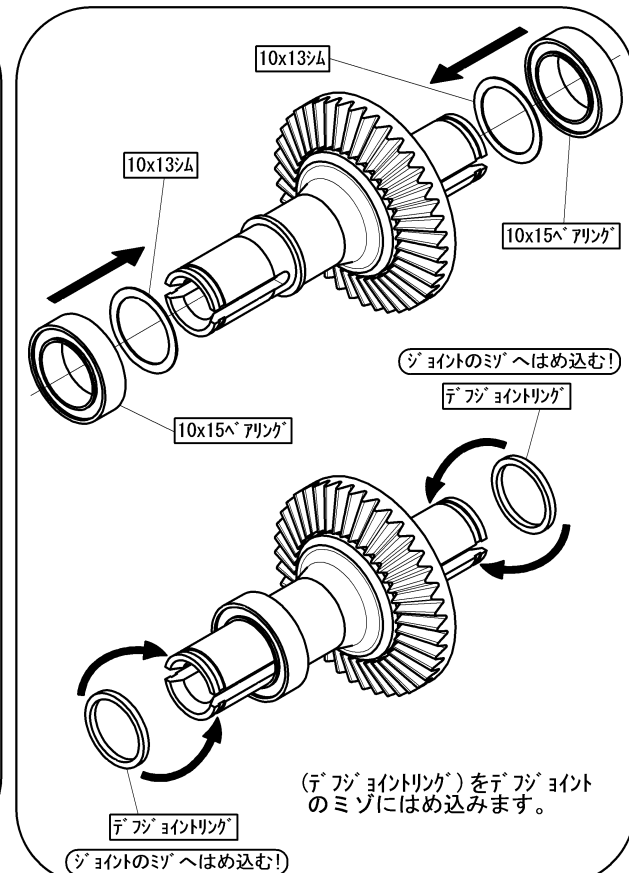


注意! ①(デフリング)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。

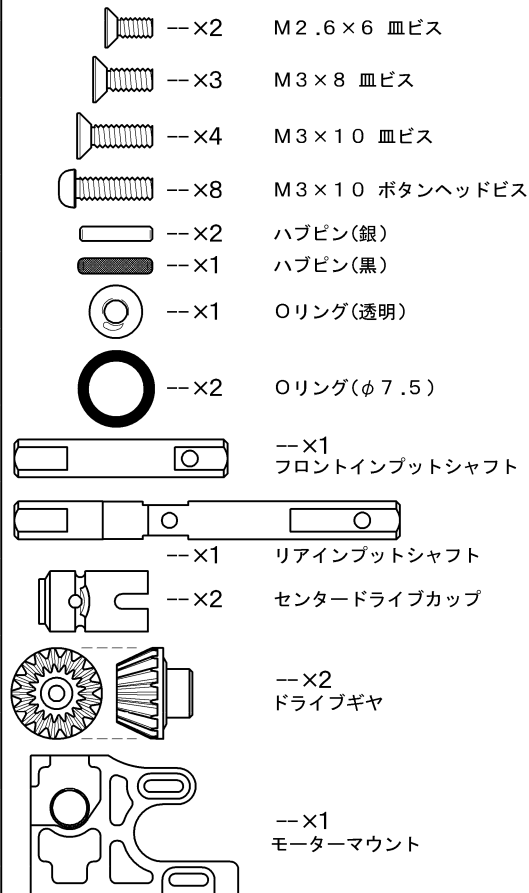
②(デフリング)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

③(デフボール)には(デフルーブ)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。

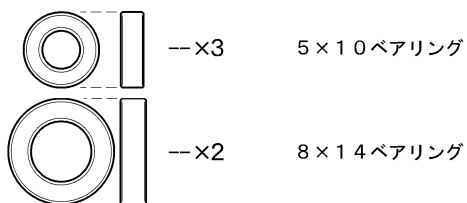
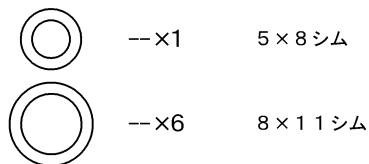
④(キャップスクリュー)を締込む目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)



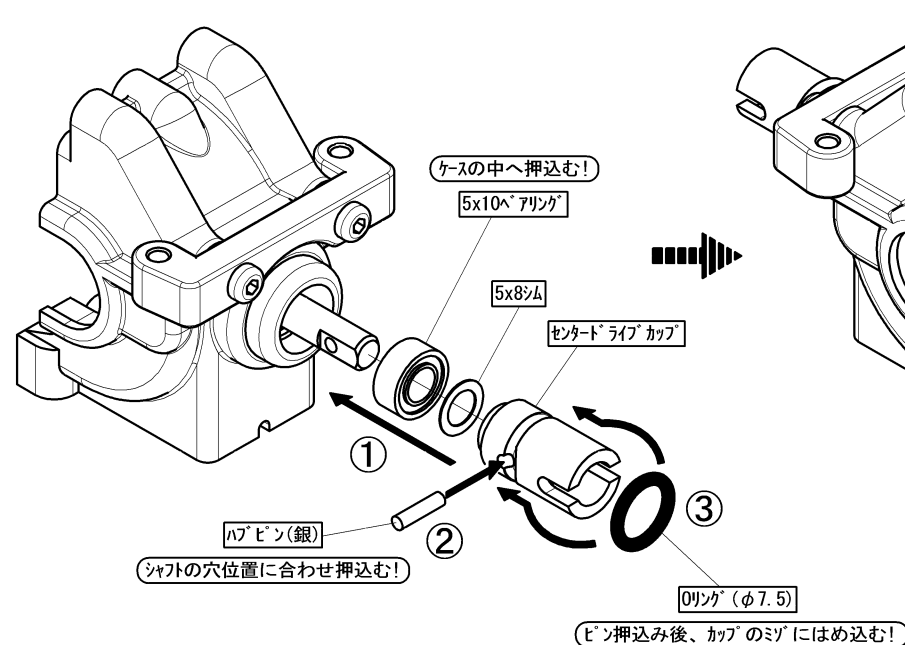
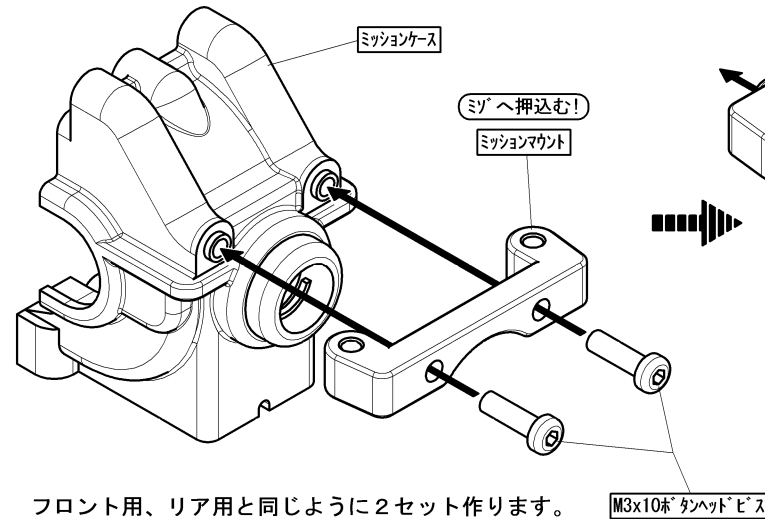
【袋③の内容】



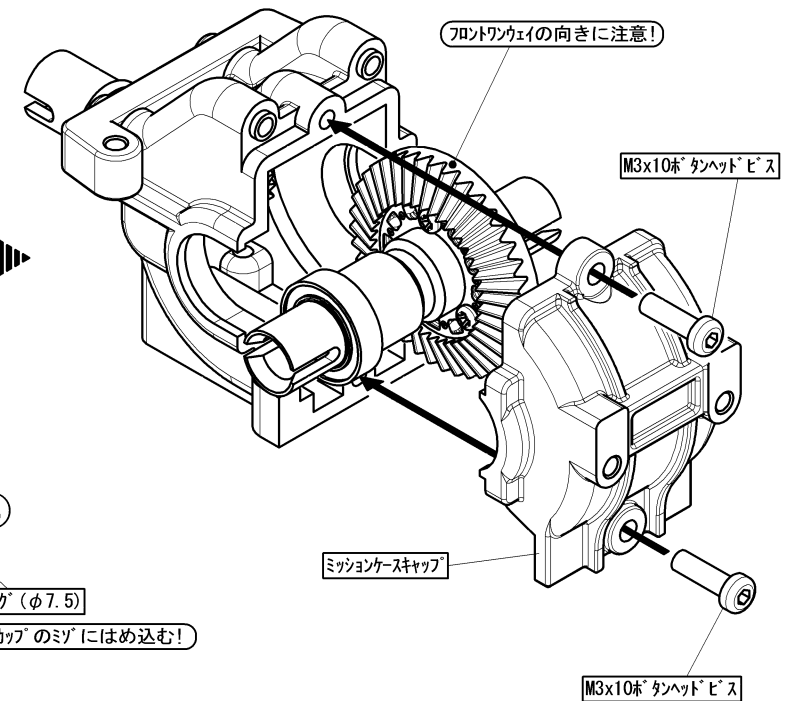
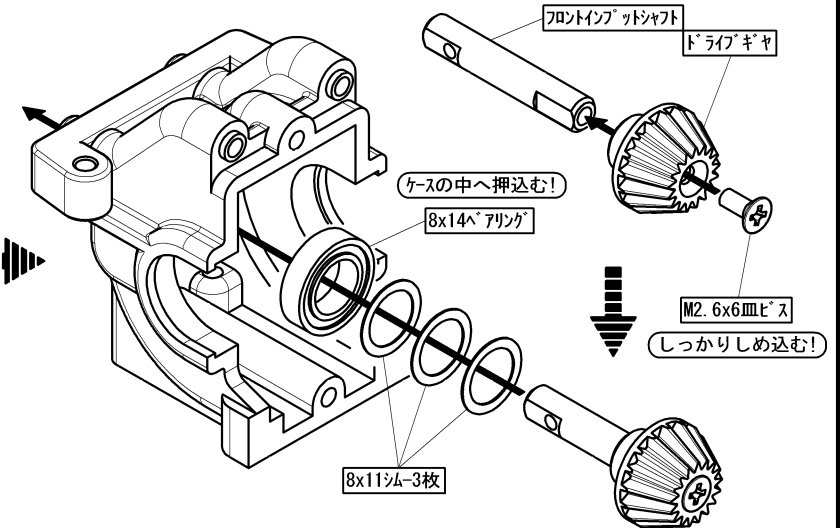
その他、トランスミッションケース類3点



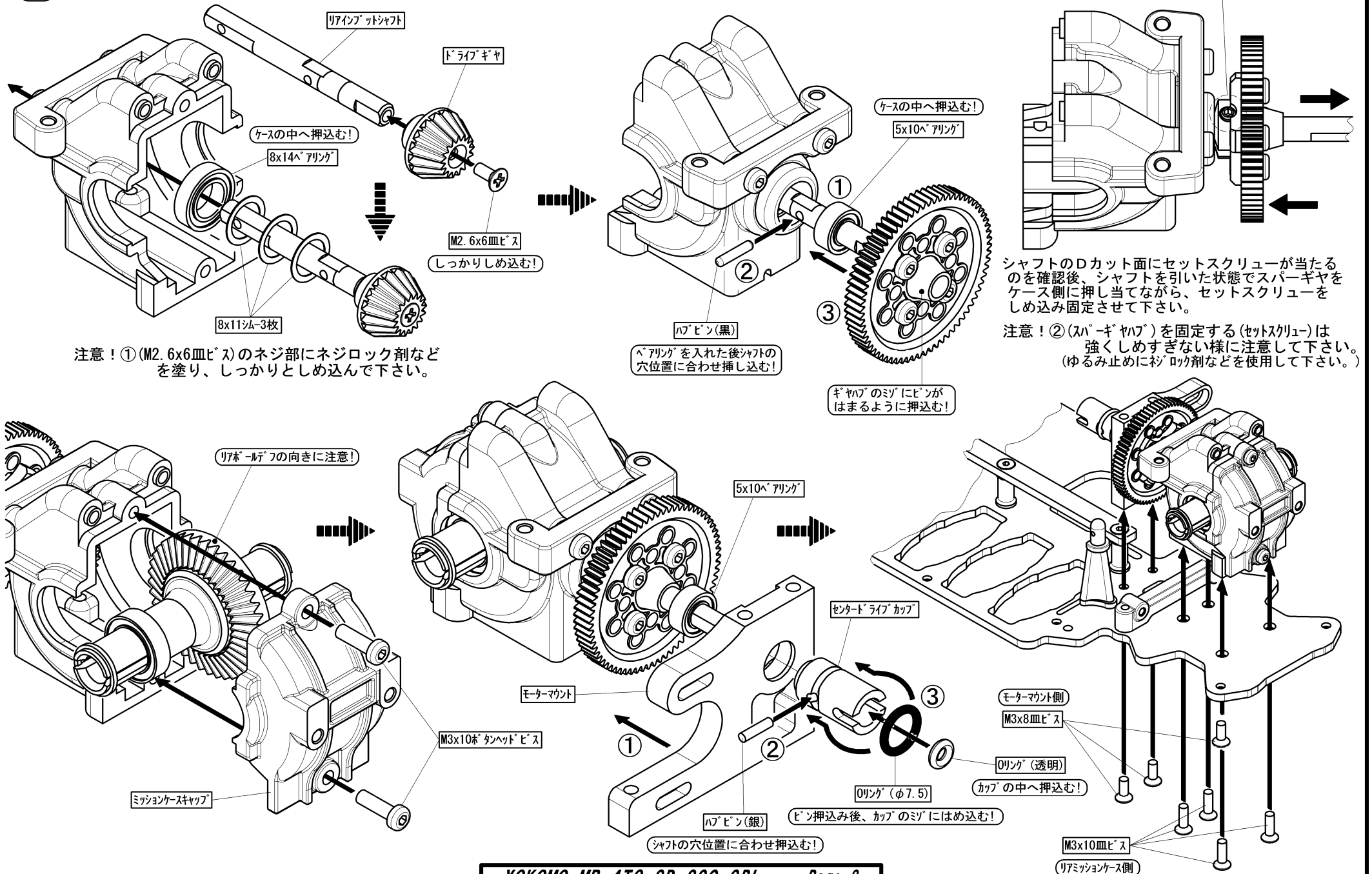
5 フロントミッションケースの組立て



注意! - (M2.6×6皿ビス)のネジ部にネジロック剤などを塗り、しっかりと締め込んで下さい。

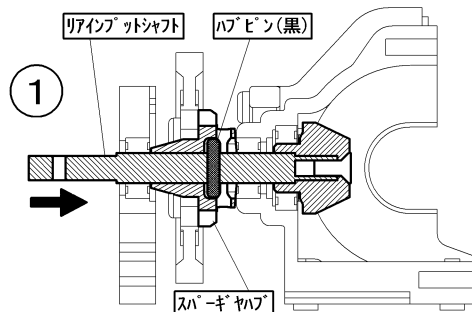


6 リアミッションケースの組立て

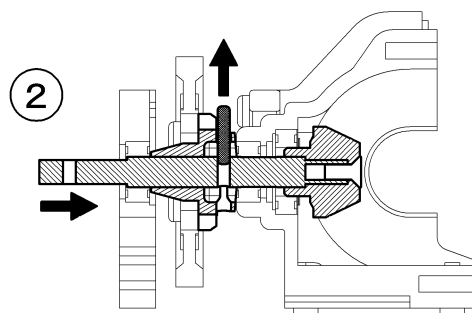


1 ポイントアドバイス!

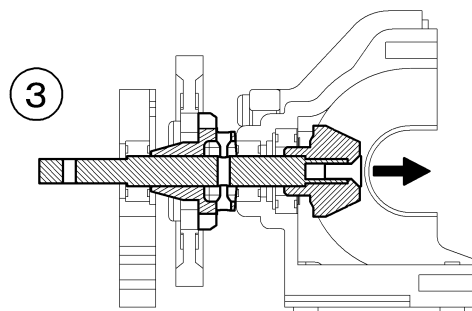
スパーギヤハブの取外し方



スパーギヤハブのセットスクリューをゆるめリヤインプットシャフトを後方へずらす。
(あらかじめセンタードライブカップを外しておいて下さい。)

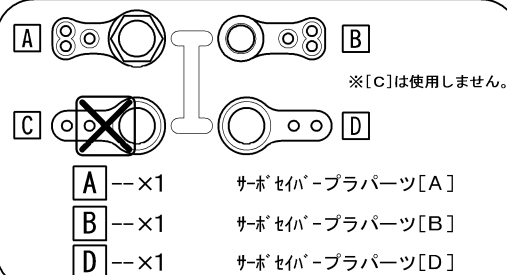
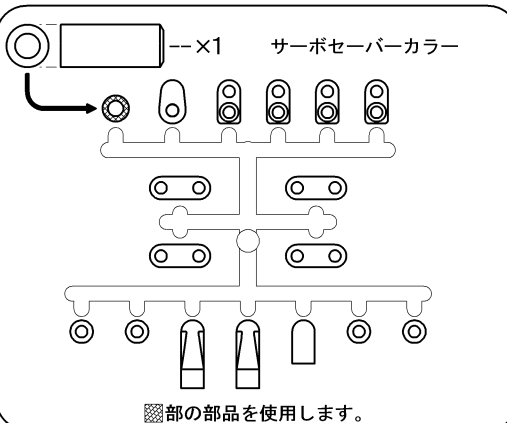
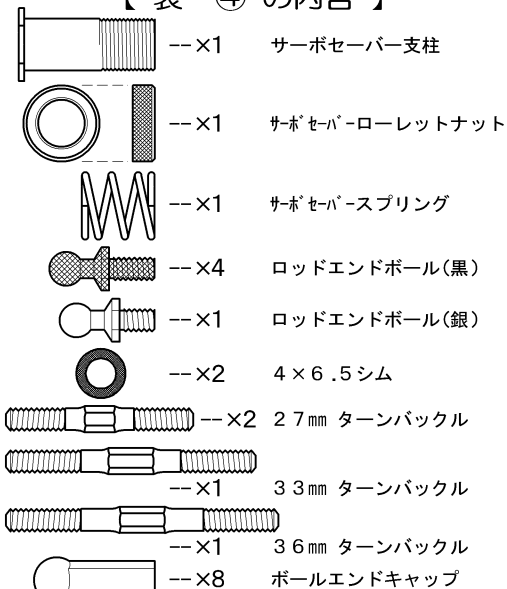


スパーギヤハブの穴からハブピンが見える位置までリヤインプットシャフトをづらしハブピンを抜く。
(ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム系接着剤などを塗って下さい。)

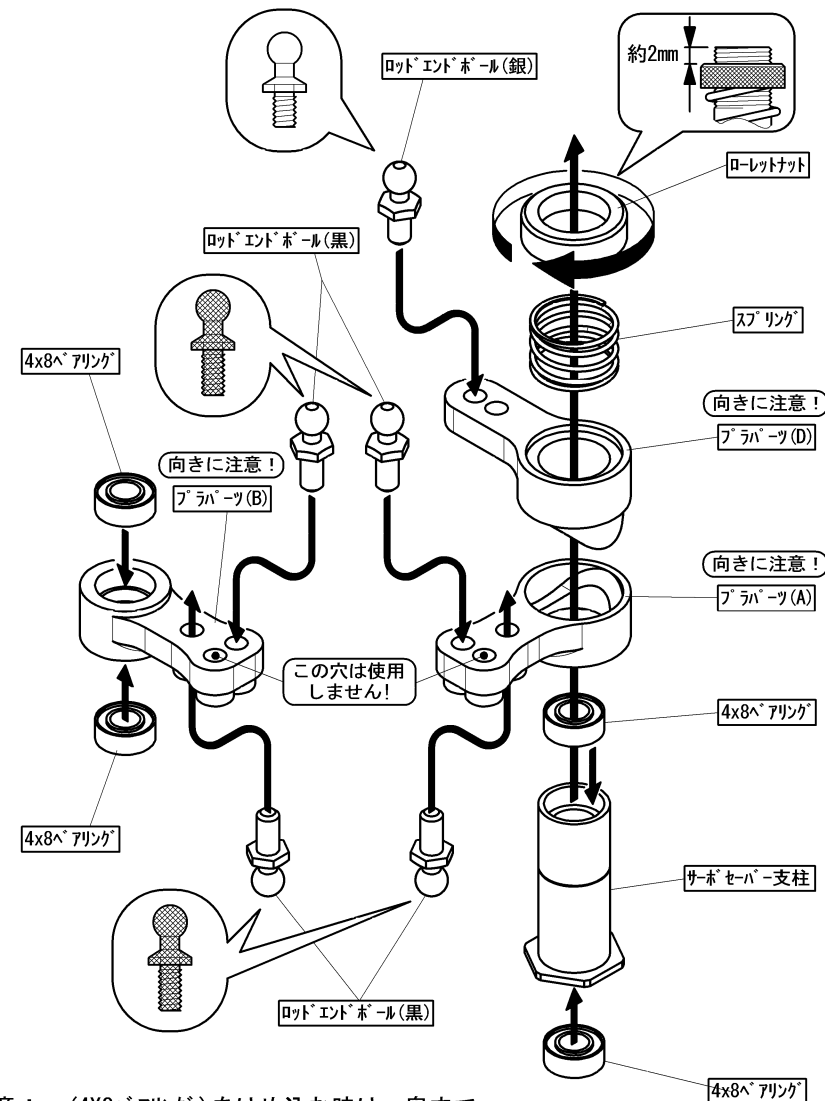


リヤインプットシャフトを引き抜きスパーギヤハブを上から抜く。
(再組立時は逆の手順で行います。)

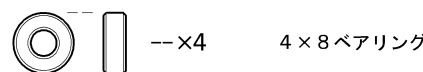
【袋④の内容】



7 サーボセーバーの組立て

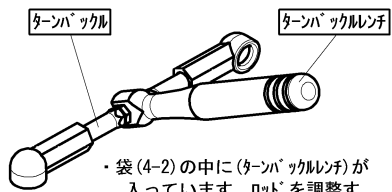


注意! - (4x8ベアリング)をはめ込む時は、奥までしっかりと押込んで下さい。



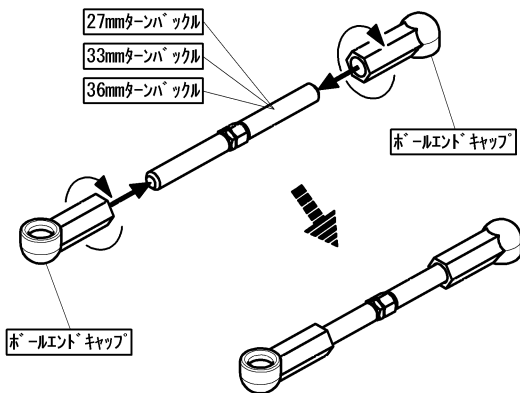
各タイロッドの組立て

- ・各ターンバックルの両側から(ボールエンド)をねじ込みロッドを組立てます。

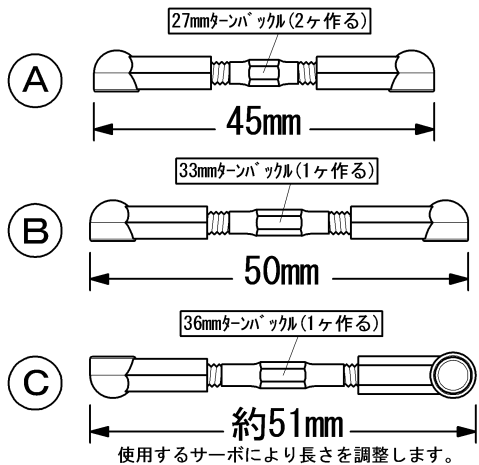


- ・袋(4-2)の中に(ターンバックルレンチ)が入っています。ロッドを調整する時などにご使用下さい。

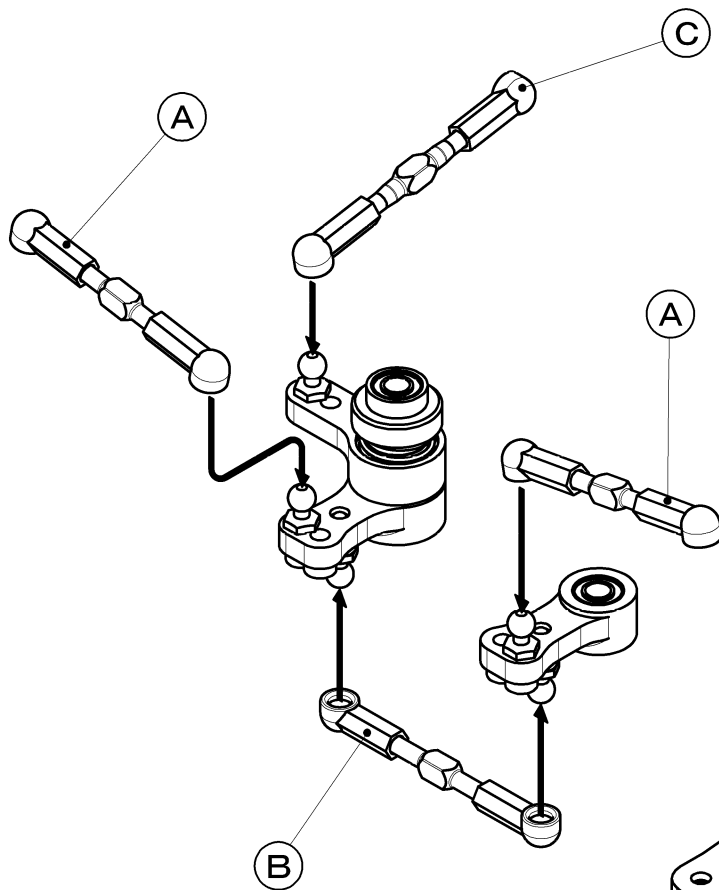
片側が逆衫^{さかぎん}になっています。



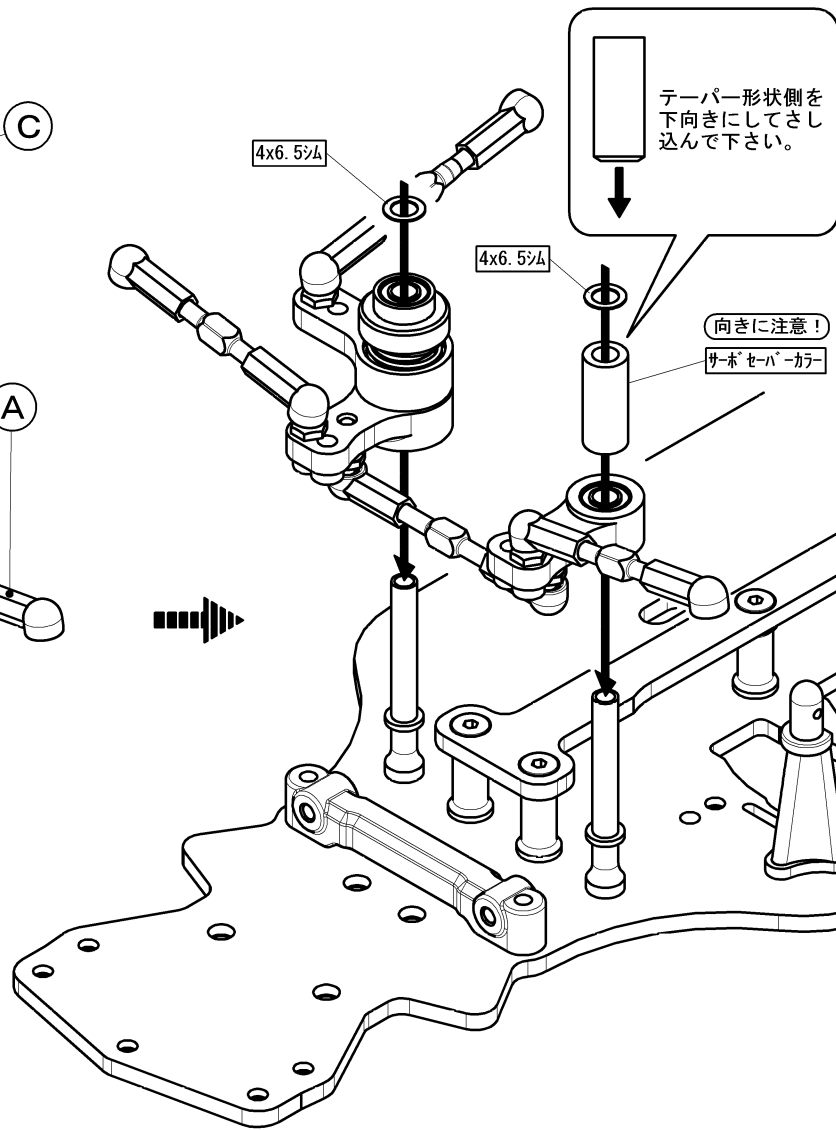
・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。



8) サーボセーバーの取付け

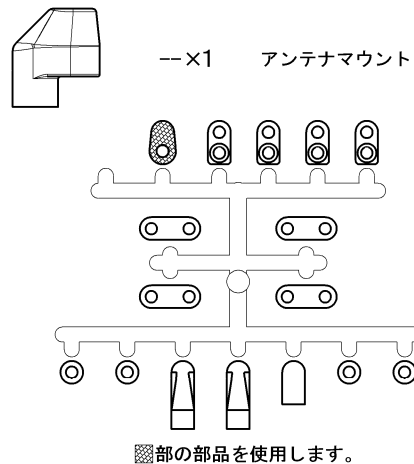
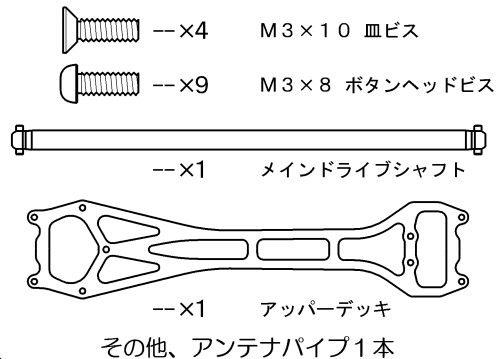


3 種類の各ロッドをロッドエンドボールにはめ込みます。
(はめ込む場所を間違えないように注意して下さい。
ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ
後での長さ調整が簡単に行えます。)

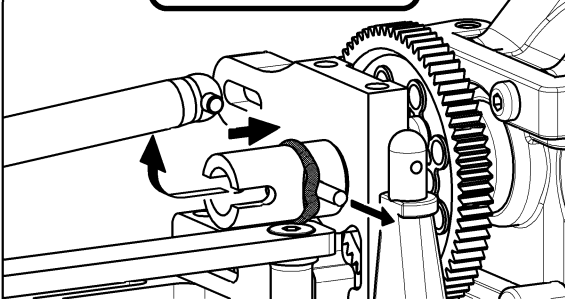


サーボセーバーマウントにサーボセーバーを通します。

【袋⑤の内容】

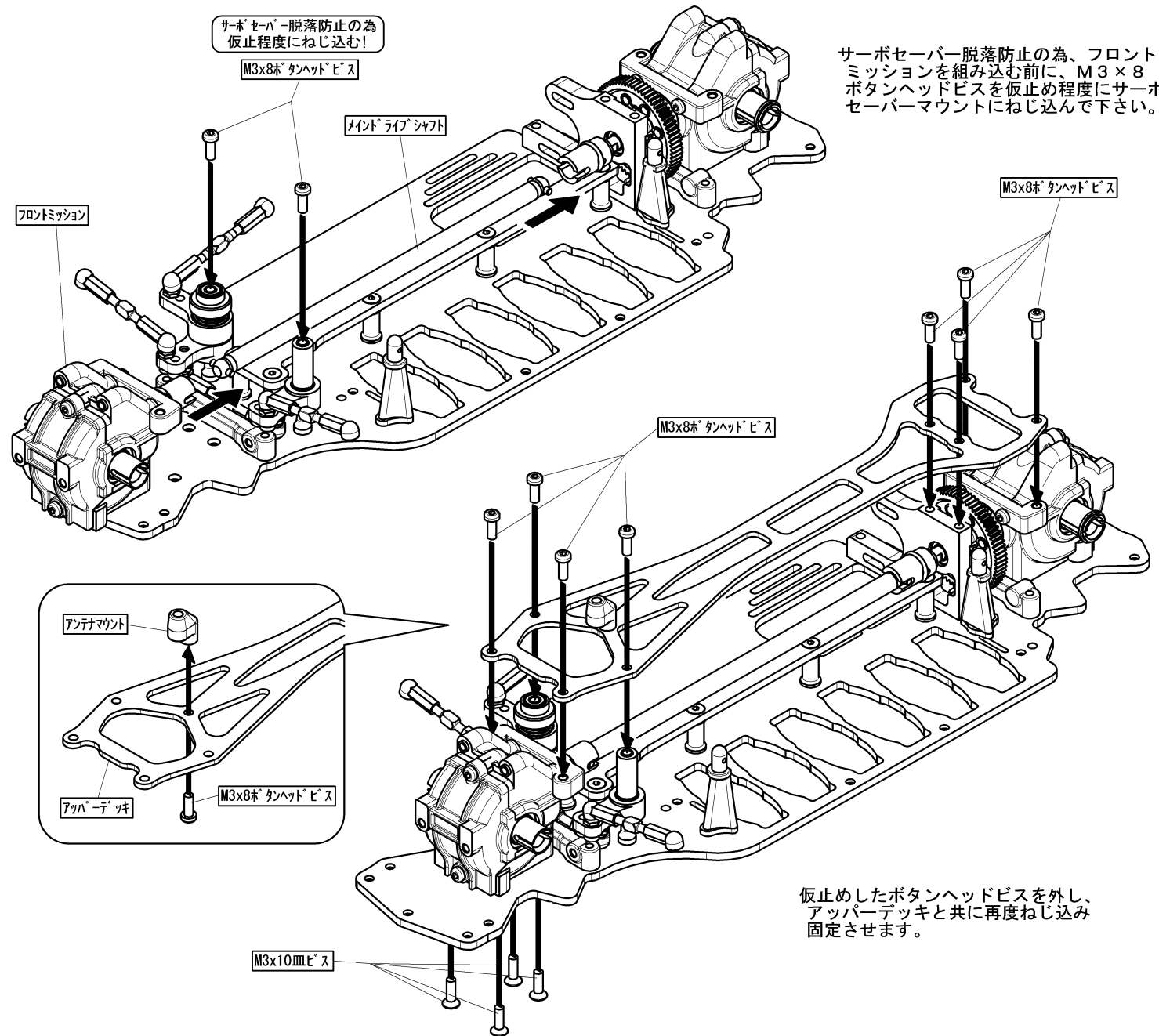


1ポイントアドバイス!



組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は、インプットシャフトからハブピン(銀)が抜けるまで外から押し出し、センタードライブカップをズラすことで簡単に取る事ができます。

9 フロントミッションケース、アッパーデッキの取付け



サーボセーバー脱落防止の為、フロントミッションを組み込む前に、M3x8 ボタンヘッドビスを仮止め程度にサーボセーバーマウントにねじ込んで下さい。

仮止めたボタンヘッドビスを外し、アッパーデッキと共に再度ねじ込み固定させます。

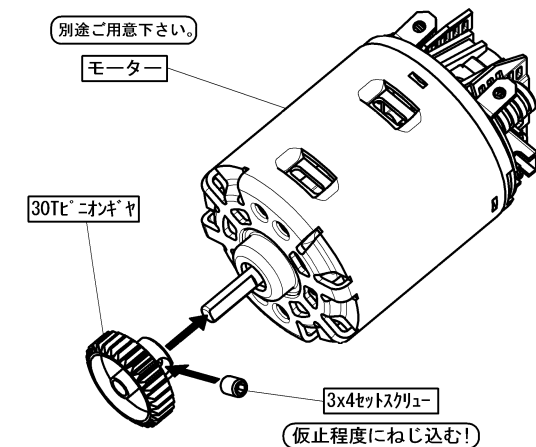
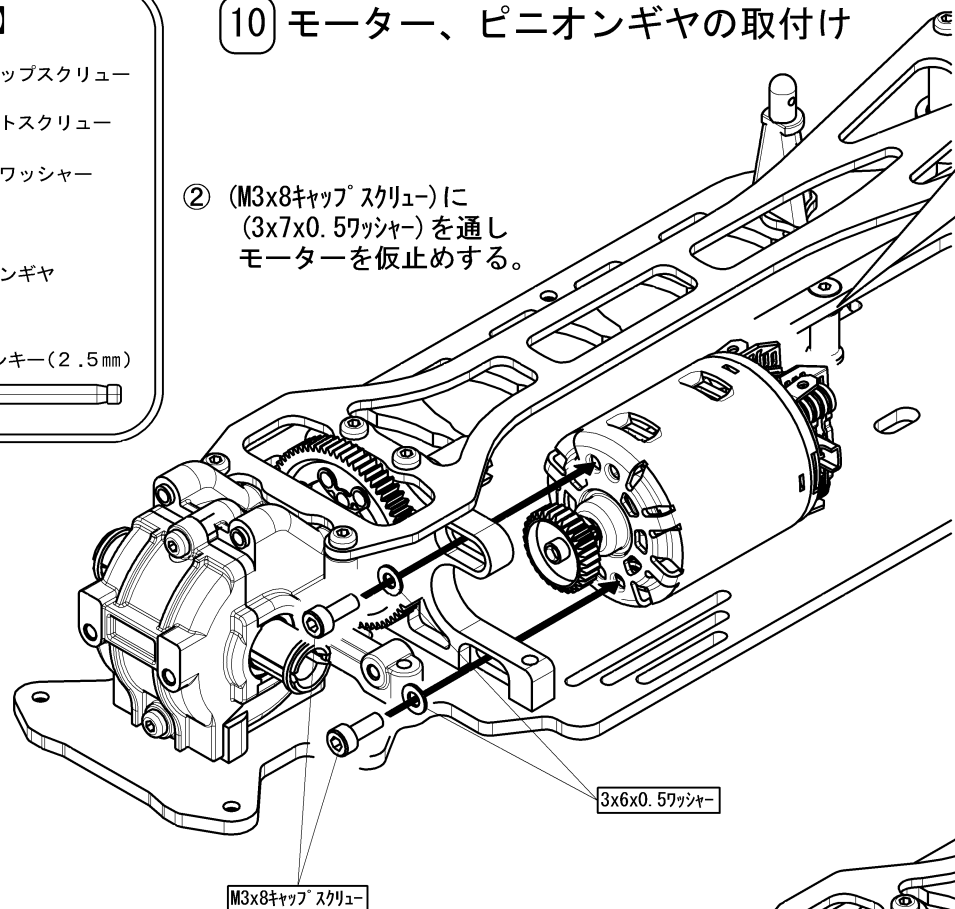
【 袋⑥ の内容 】

-  --x2 M3x8 キャップスクリュー
-  --x1 M3x4 セットスクリュー
-  --x2 3x6x0.5 ワッシャー
-  --x1 30T ピニオンギヤ
-  --x1 ボール付アレンキー(2.5mm)

10 モーター、ピニオンギヤの取付け

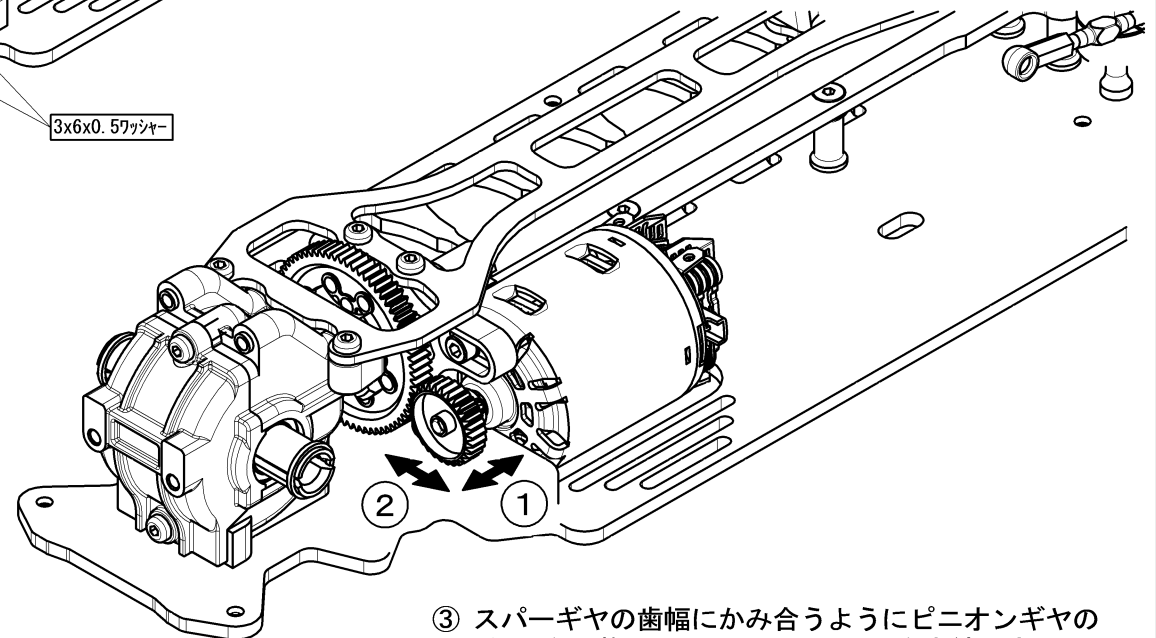
- ② (M3x8キャップ スクリュー)に
(3x7x0.5ワッシャー)を通し
モーターを仮止めする。

- ① (30Tピニオン)に(M3x4 セットスクリュー)をねじ込み
モーターの”D”カット面に合わせてピニオン
を仮止めする。



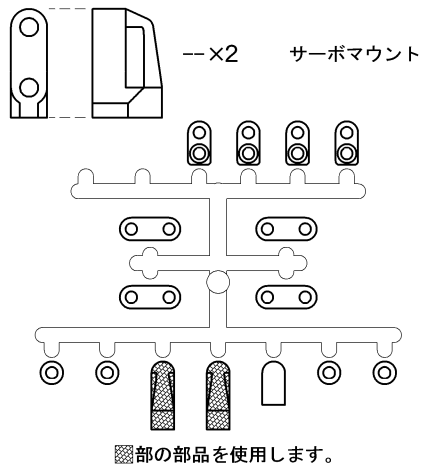
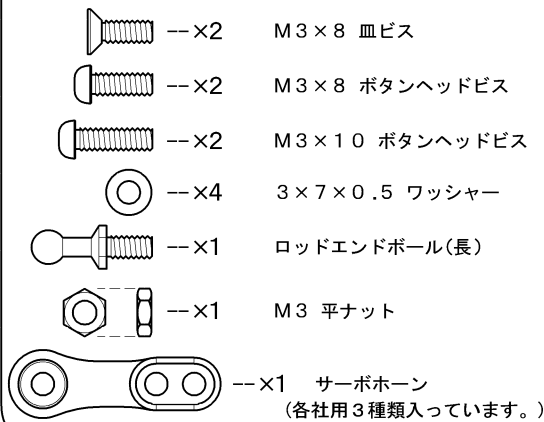
注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途
ご用意下さい。

- ②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの”Dカット”
されている部分に、セットスクリューが当たる様に
しっかりと締め込んで下さい。
- ③バックラッシュは少し隙間が出る程度に調整して下さい。
(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)
- ④付属のボール付アレンキー(2.5mm)のボール部は仮止め
程度の作業でご使用下さい。本締めなどを行う場合は、
必ず反対側フラット部で行って下さい。
- ⑤連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

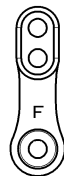


- ③ スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの
位置を調整し、セットスクリューを本締めする。
バックラッシュを合わせ、キャップスクリュー
2本を本締めする。

【袋⑦の内容】

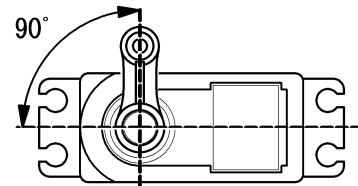


11 サーボの取付け

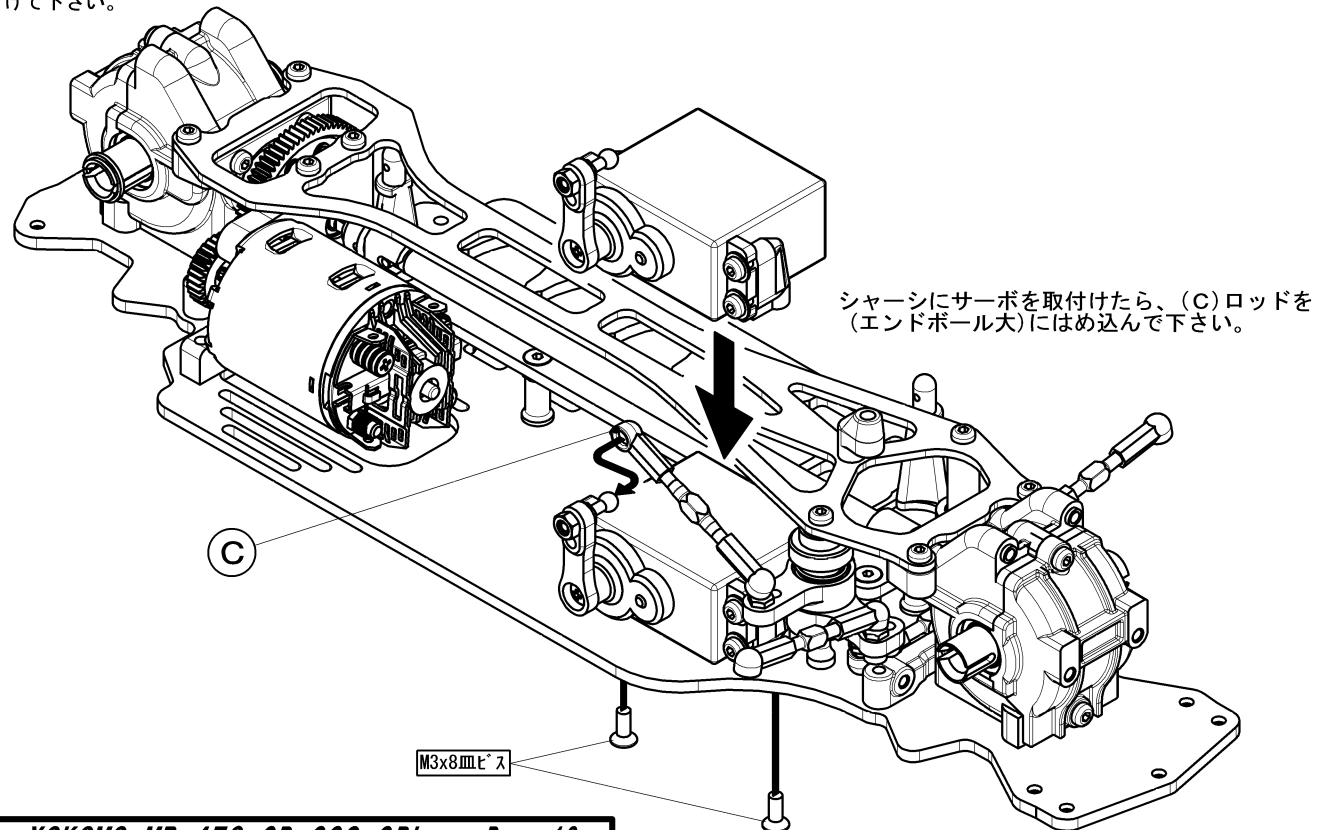
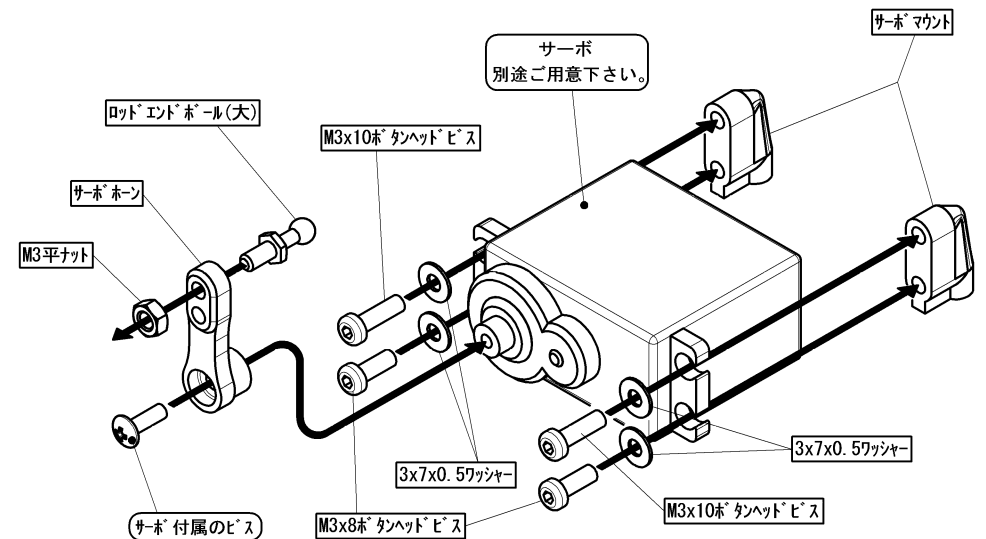


刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
J K S	J R, K O, サンワ

付属のサーボホーンには刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



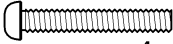
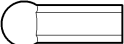
必ずサーボのニュートラルを出してから、サーボホーンを垂直に取付けて下さい。

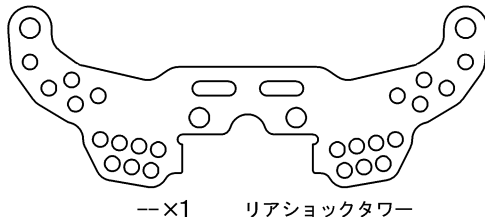
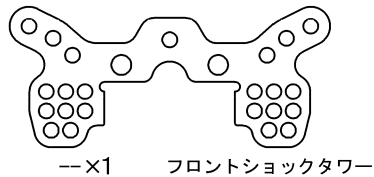


注意！①(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

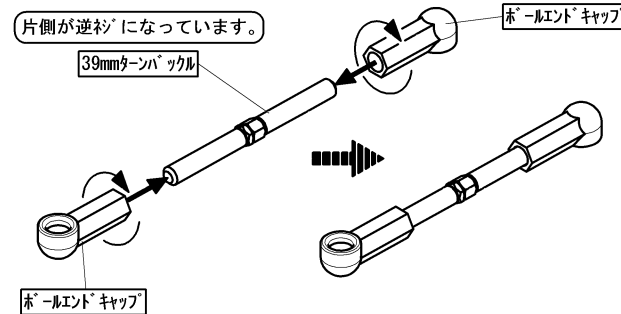
②キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

【 袋-⑧ の内容 】

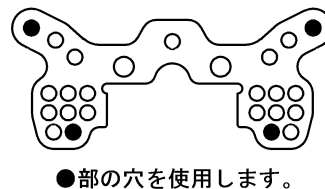
-  --×4 M3×8 ボタンヘッドビス
-  --×4 M3×20 ボタンヘッドビス
-  --×4 39mm ターンバックル
-  --×4 ロッドエンドボール
-  --×8 M3 平ナット
-  --×8 ボールエンドキャップ



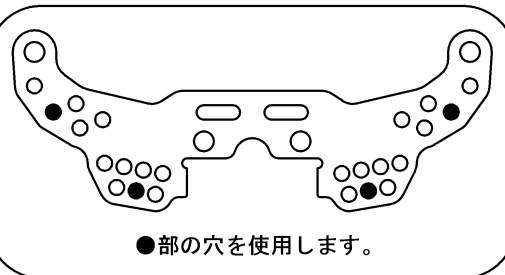
12 前後アッパーアームの組立て



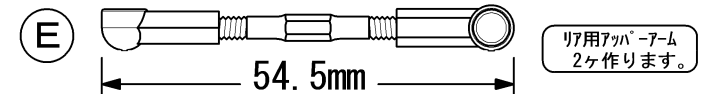
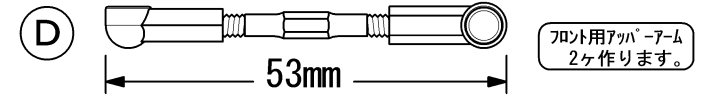
フロントショックタワーに取付け



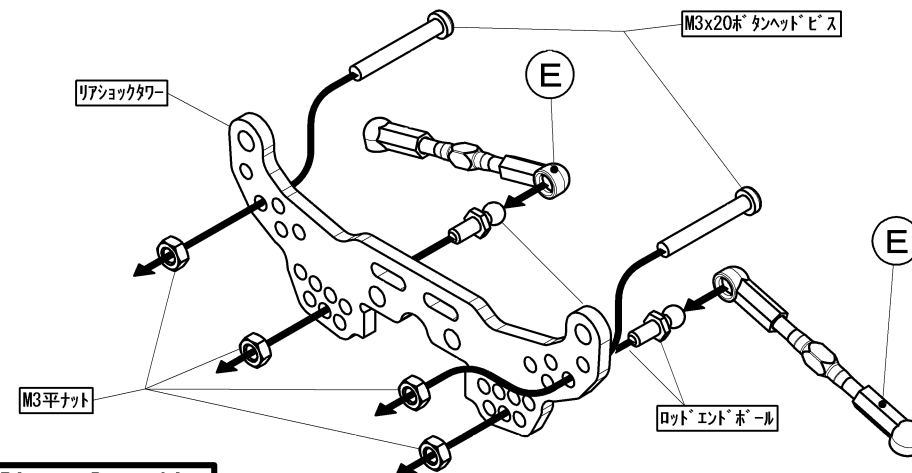
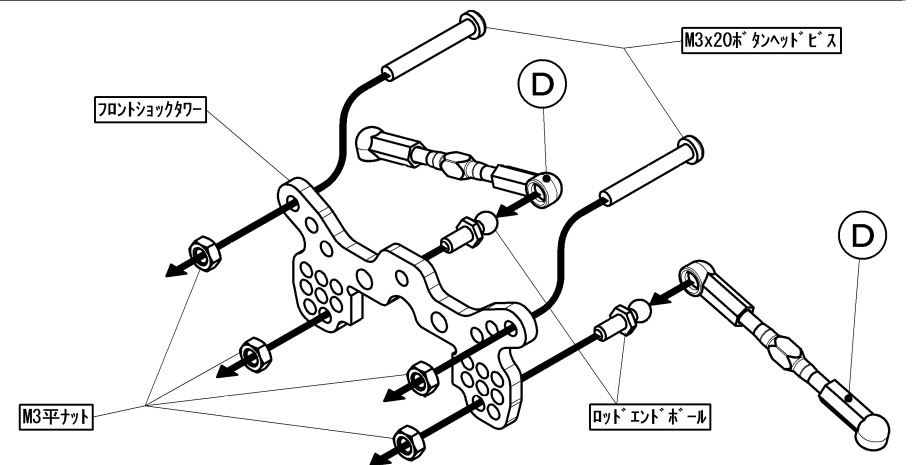
リアショックタワーに取付け



ロッドエンドボールをショックタワーに取付後、
前後アッパーアームをはめ込んで下さい。
(ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ
後の長さ調整が簡単に行えます。)



フロント用、リア用共ボールエンドキャップ
の向きは、取付時に調整して下さい。



13 前後ショックタワーの取付け

フロントミッションケース側

フロントショックタワー

M3x8本 タンヘッド ビス

リアミッションケース側

リアショックタワー

M3x8本 タンヘッド ビス

注意！ーフロントショックタワー、リアショックタワーを取付ける時は、前後ミッションケースの凸部にしっかりとめ込み指定のビスで固定して下さい。

A technical drawing of a bolt and nut assembly. The bolt is shown in profile, with a hexagonal head on the left and a threaded shank extending to the right. A nut is shown on the right, with a hexagonal body and a central threaded hole. The bolt is inserted into the nut, and the threads are visible where they meet.

○	-×2	フロントアクスル(短)
	-×2	リアアクスル(長)

 --x4
  --x4
  --x4
 カップリング クロスピン M3×2.5セットスクリュー

 --×4
 M3×10 皿ビス

 --×2
 M3×4 セットスクリーン

 --×4
 M3×10 セットスクリーン

 --×4
 ロット・イント・ホー(黒)

 --×2
 ロット・イント・ホー(銀)

 --×4
 キングピン

 --×4
 ホイルハブ
 --×4
 Oリング(φ7.5)
 --×4
 ホイルハブ ピン
 --×8
 M2.6×4トラスビス

 --×4
 M4 ナイロンナット

 --×4
 アウターサスアームビン

 --×4
 インナーサスアームビン

—×1枝 ステアリングハブキャリア

—×2枝 ステアリングブロック& リアハブキャリア& キングピンカラー (左右共通)

---x2枝

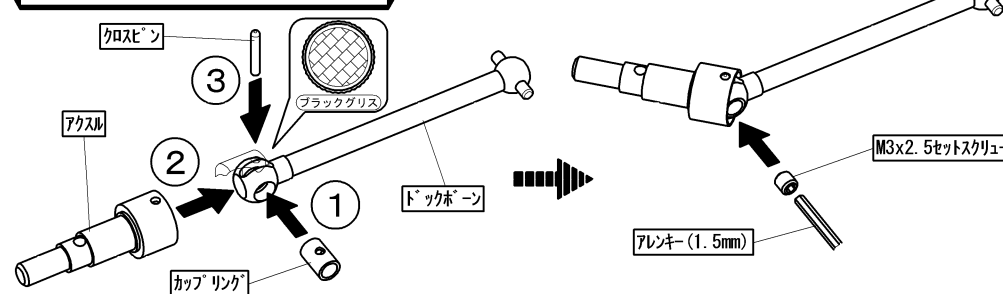
ロサス・アム& スベ・サー
(前後左右共通)

6x10ベアリング

--x8

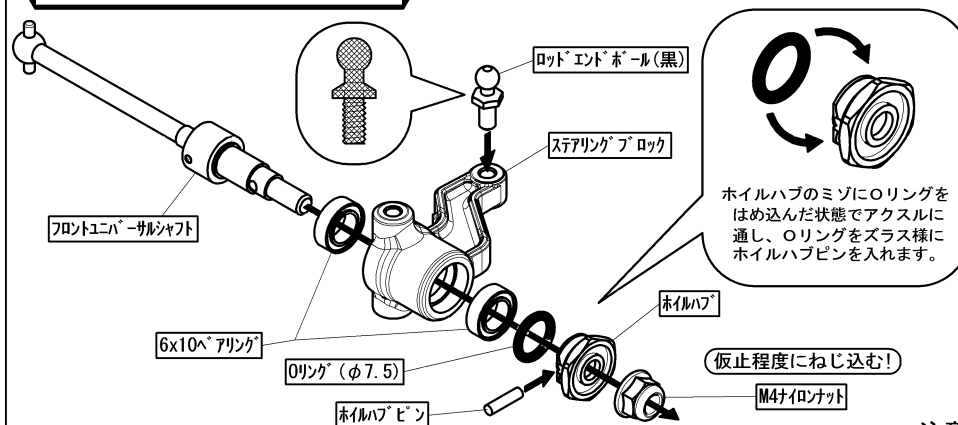
ユニバーサルシャフトの組立て

フロント用、リア用と同じように2セット作ります。



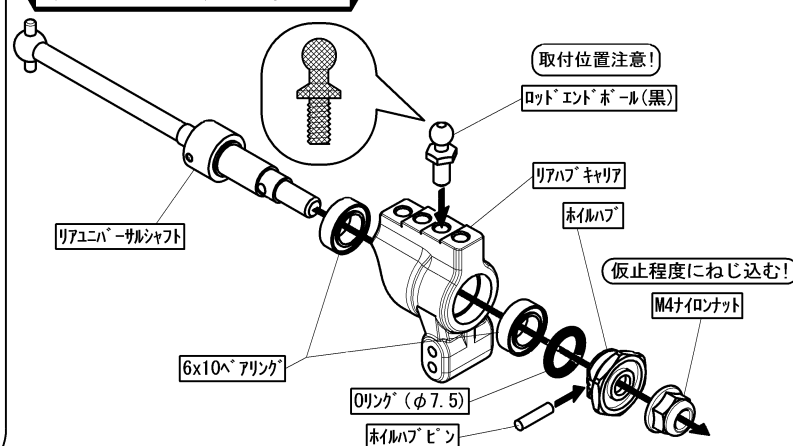
フロントハブキャリアの組立て

2セット作ります。(ステアリング・ハブ・キャリアには左右あり)

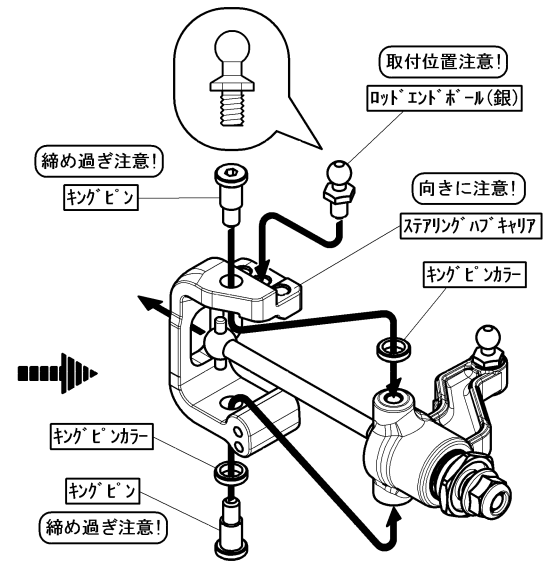


リアハブキャリアの組立て

2セット作ります。



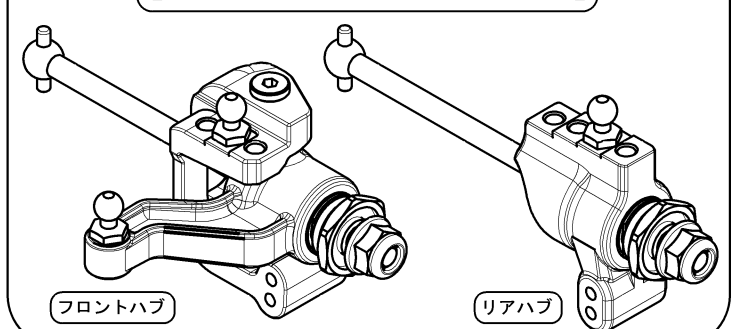
注意！①アクスルには長さ違いで前後の区別があります。フロント用には短い方を、リア用には長いアクスルを使用して組立てを行って下さい。（ドックボーンは前後共通です。）
アクスルにドックボーンをはめる時は、ブラックグリスを塗って下さい。



注意！②(ステアリングハブキャリア)は左右があります。

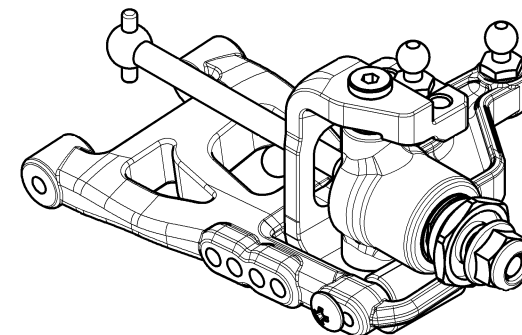
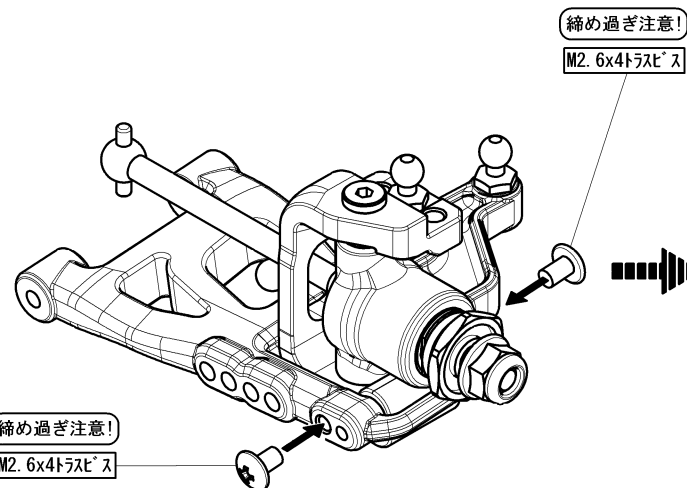
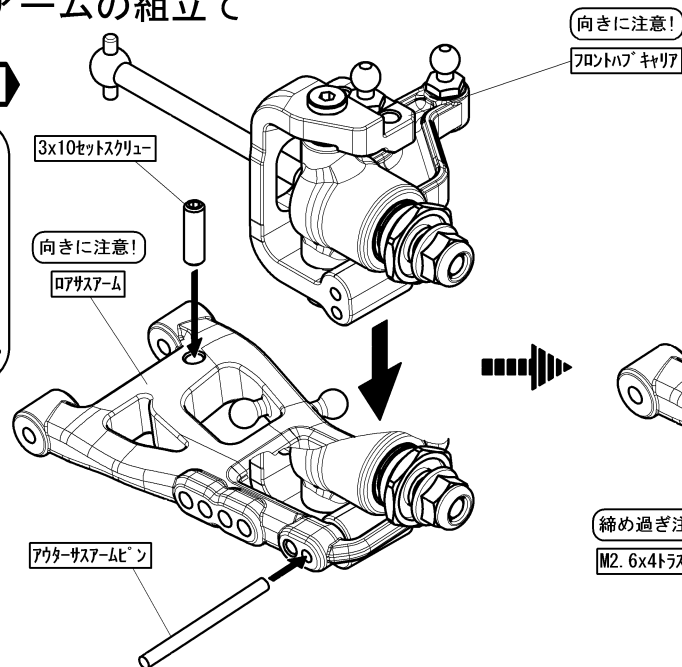
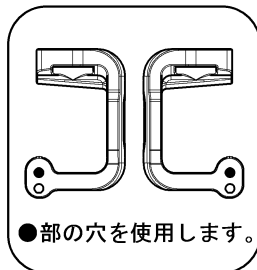
③(キグピン)上側を取付ける時は(キグピンカー)を押しつぶさない様注意してしめ込んで下さい。
(つぶれてしまうと動きが悪くなります。)

【 反対側も対称に組立てます。 】



15 ロアサスアームの組立て

フロント側の組立て

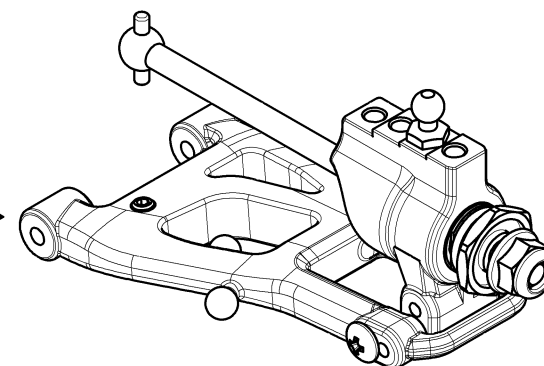
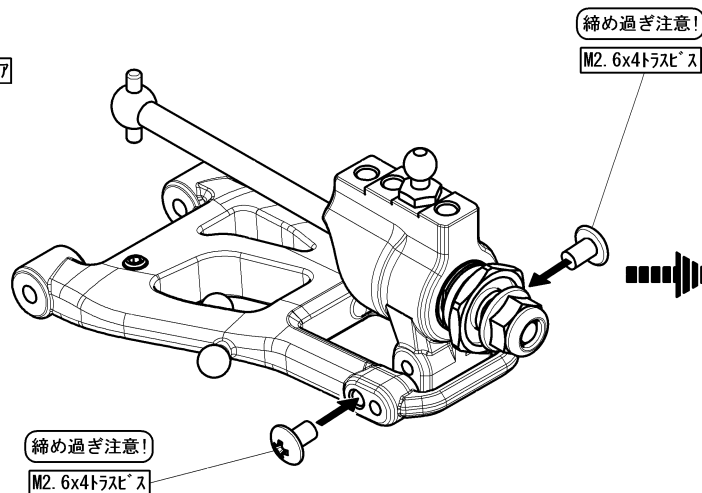
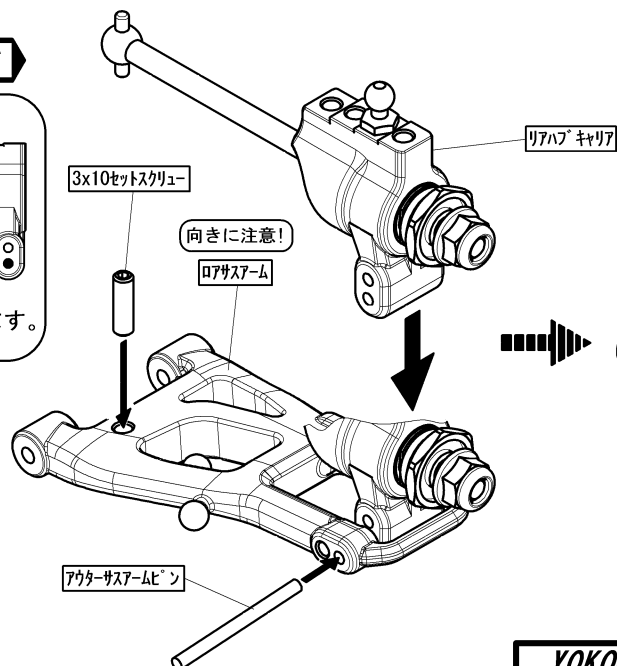
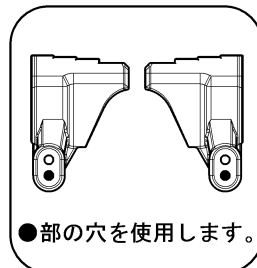


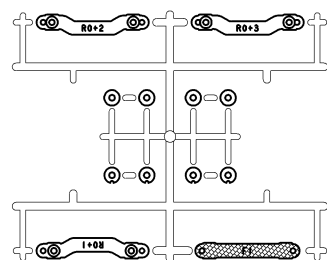
M3×10セットスクリューはロアアーム
下側約2mm程度出るまで締め込んで下さい。

注意！—(M2.6x4トラussピン)をねじ込む時は、奥まで締めた後、1/4
回転程度戻して下さい。
(締め過ぎるとアームの動きが渋くなります。)

【 反対側も対称に組立てます。 】

リア側の組立て





■部の部品を使用します。

【取付け前にちょっと注目！】



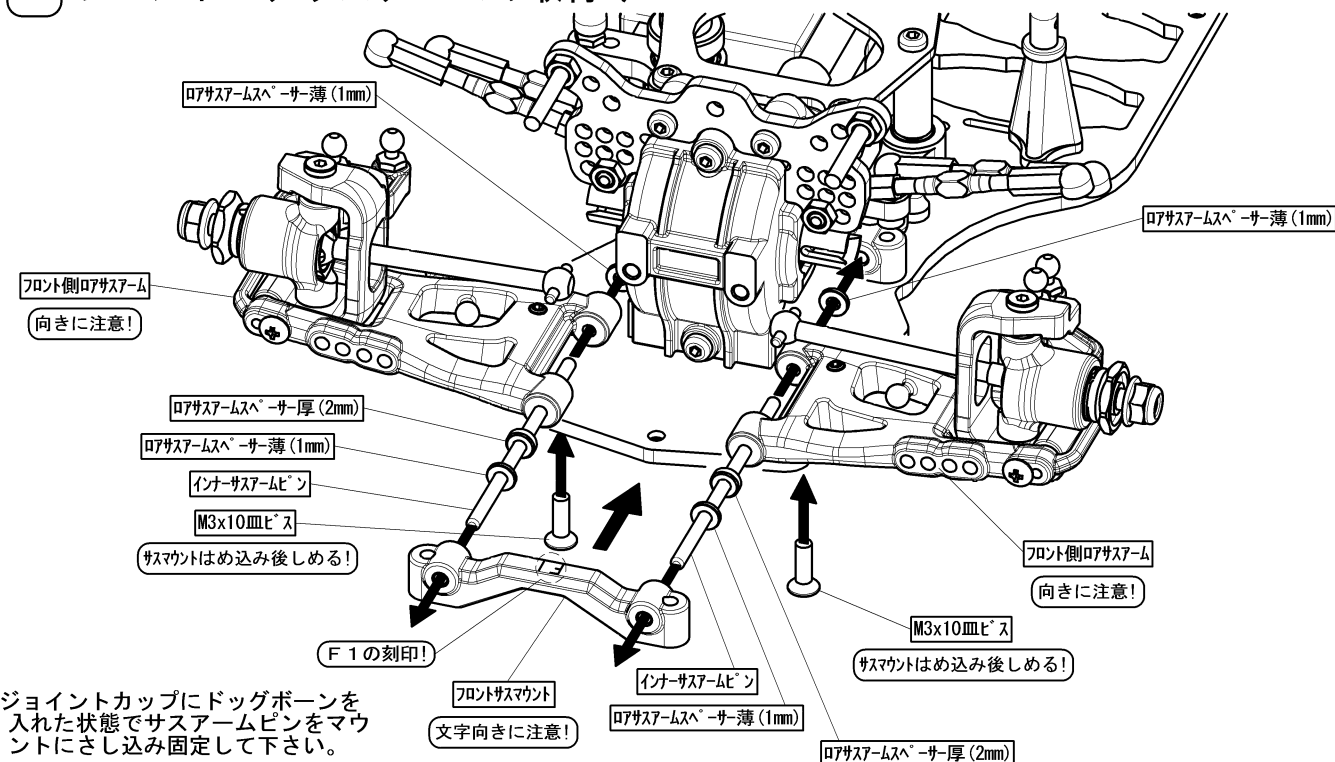
ブラックグリス
(黒色のグリス)

・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

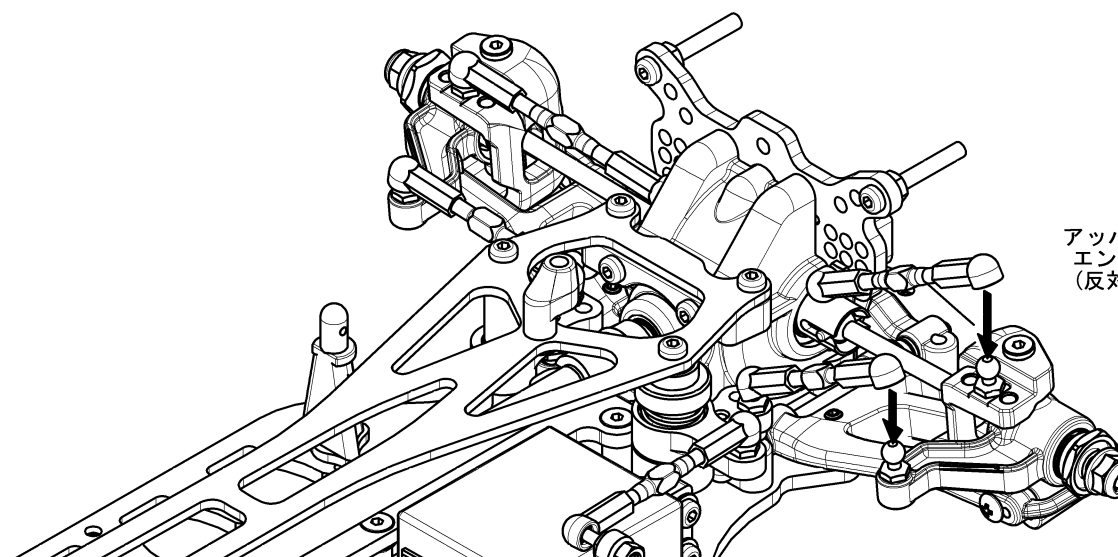
注意！①フロントユニバーサルシャフトのピンには
必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたフロントロアサスアーム
には、左右の向きがあります。図を良く
参照し間違いの無い様に組立てて下さい。

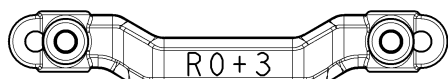
16 フロントロアサスアームの取付け



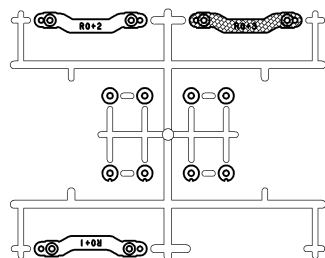
ジョイントカップにドッグボーンを
入れた状態でサスアームピンをマウ
ントにさし込み固定して下さい。



アッパーアーム、タイロッドをボール
エンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)



—×1 リアサスマウント



■部の部品を使用します。

マウントの刻印表示

マウントの刻印表示は以下のようになります。

F1 = フロント用スキッド 1度
R0+1 = リア用トーイン 1度
R0+2 = リア用トーイン 2度 } スキッド角0度
R0+3 = リア用トーイン 3度

2種類のスペーサーは以下のようになります。

キリ欠きなし = 高さ調整用 1mm厚 (1枚)
キリ欠きあり = スキッド角調整用 1度 (1枚)

【取付け前にちょっと注目！】



デフループは使用不可！
(白色のグリス)



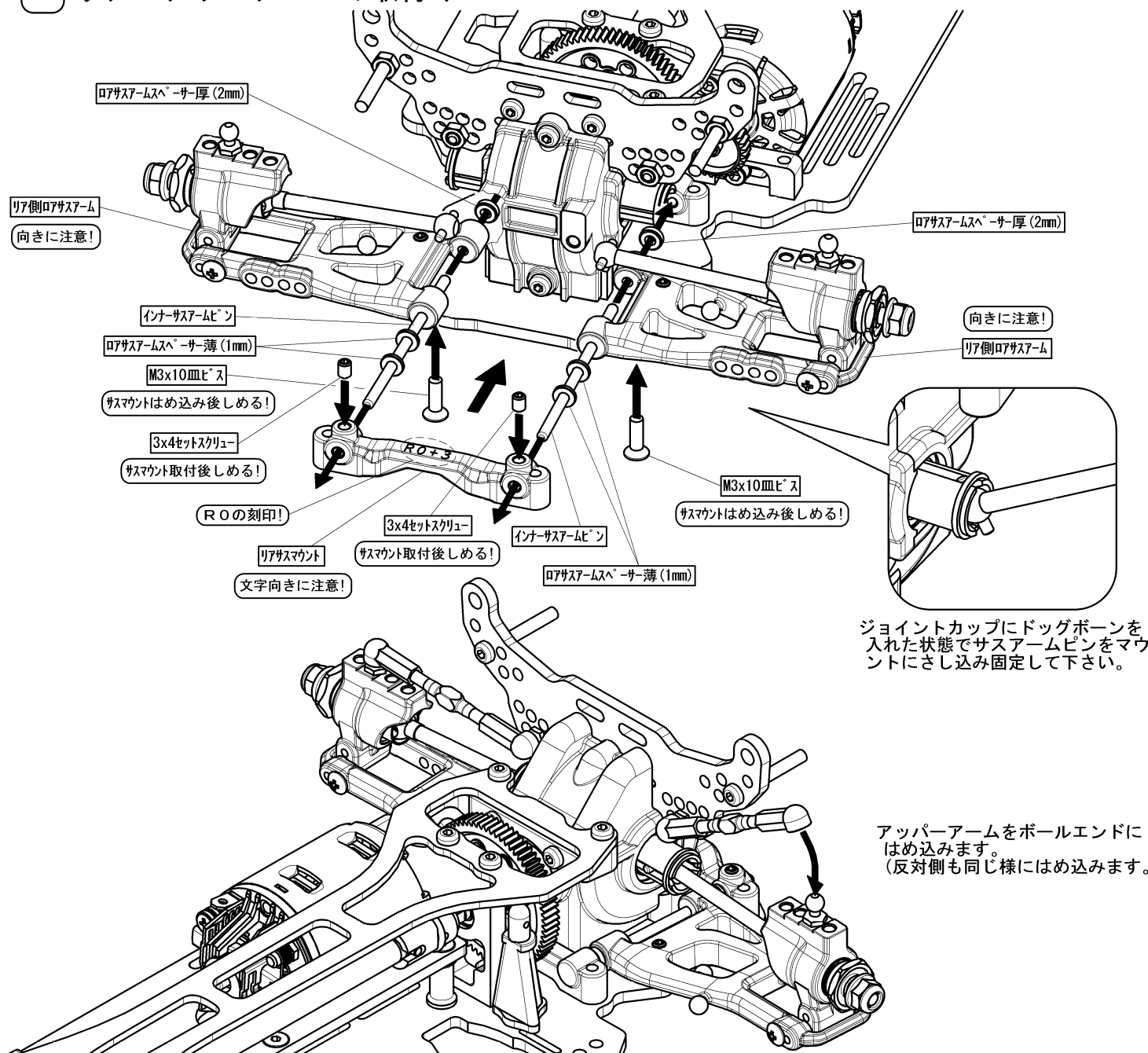
ブラックグリス
(黒色のグリス)

・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

注意！①リアユニバーサルシャフトのピンには
必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたリアロアサスアームには
左右の向きがあります。図を良く参照し
間違いの無い様に組立てて下さい。

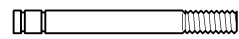
17 リアロアサスアームの取付け



ジョイントカップにドッグボーンを
入れた状態でサスアームピンをマウ
ントにさし込み固定して下さい。

アッパーアームをボールエンドに
はめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

【 袋-⑪ の内容 】



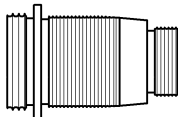
--×4 ショックシャフト



----×8 2mm Eリング



--×4 ショックスプリング



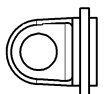
--×4 ショックシリンダー



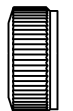
----×4 Oリングキャップ



----×4 Oリング(透明)



----×4 キャップエンド



----×4 キャップナット

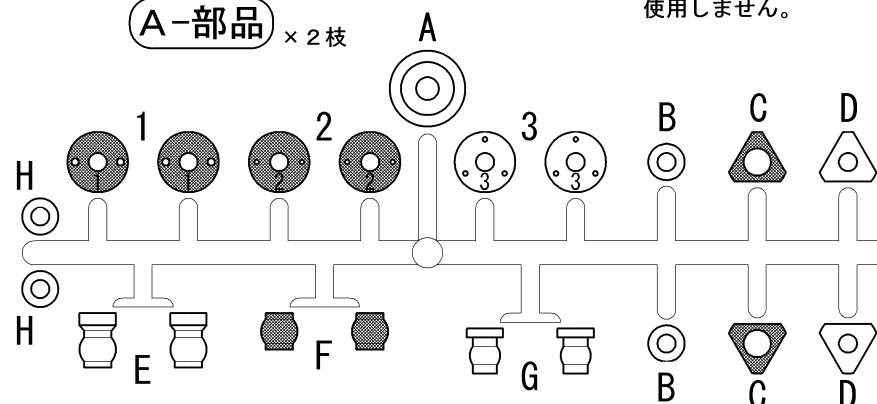


----×4 ダイヤフラム



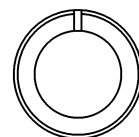
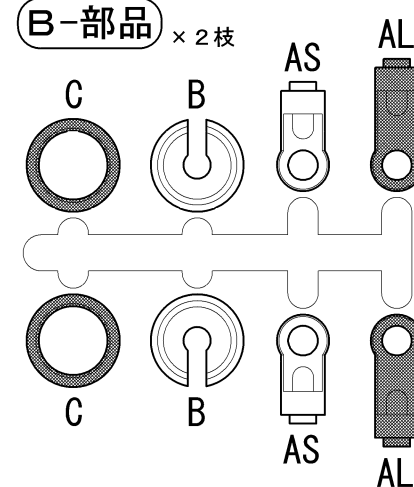
----×4 インナースポンジ

A-部品 × 2 枝

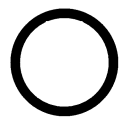


部の部品は
使用しません。

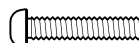
B-部品 × 2 枝



----×4 アジャストナット



----×4 Oリング(φ12)



----×4 M3×15 ボタンヘッドビス

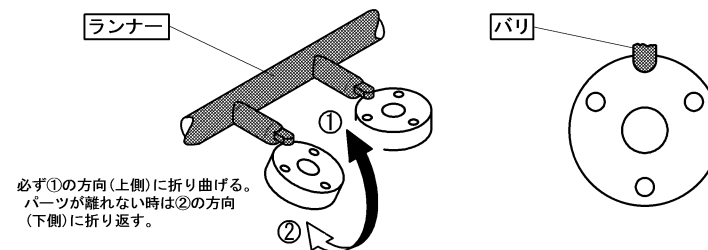


----×4 M3ナイロンナット

その他、ショックオイル 1ヶ

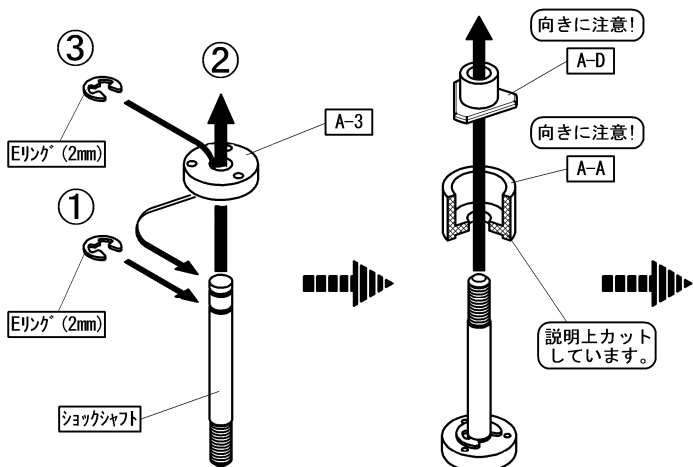
注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には、間違えないよう注意して下さい。

【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】



注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離し
て下さい。なお、パーツにバリなどが残って
しまった場合は、カッターなどで丁寧に切り
落として下さい。

18 ダンパーの組立て(4本作ります。)

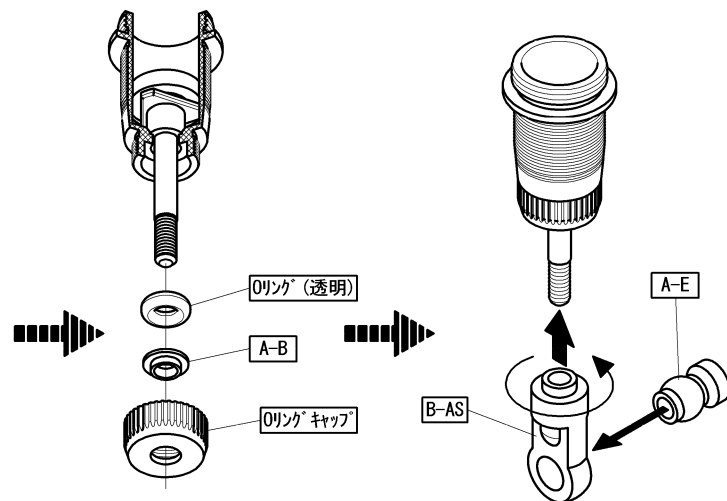


・ (ショックシャフト) に (2mm Eリング), (A-3) ピンを番号通りにはめ込む。

・ ショックシャフトASSYに上記パーツを通す。
(パーツの向きに注意！)

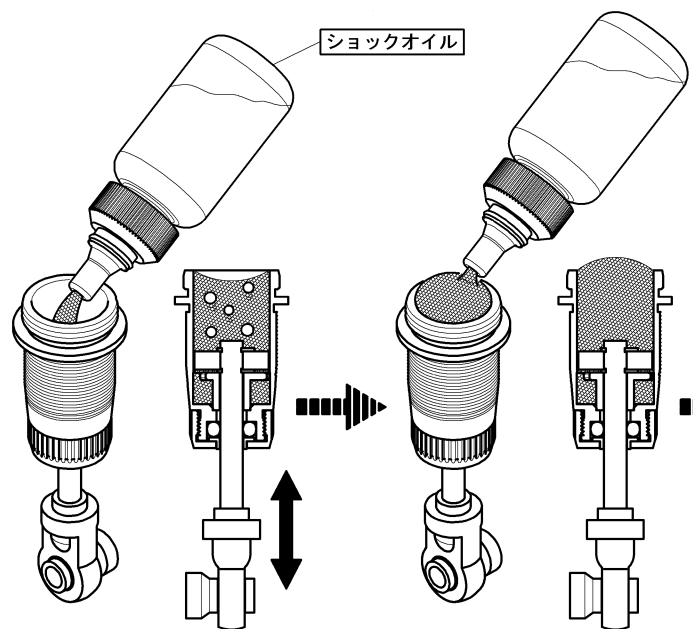
・ ショックシリンダーにショックシャフトASSYを
入れシャフトをいっぱいまで引く。

・ ショックシリンダーからシャフトASSY、
(A-A) 押込み用ジグを取り出し、
シャフトASSYのみショックシリンダーに戻す。



・ Oリング (透明)、(A-B) をショックシリンダー
にはめ込み、Oリング キャップ をねじ込む。
(シャフトのネジ部分で (Oリング) にネジを付け
ないよう注意！)

・ ショックシャフトに (B-AS) をねじ込み
(A-E) をはめ込む。



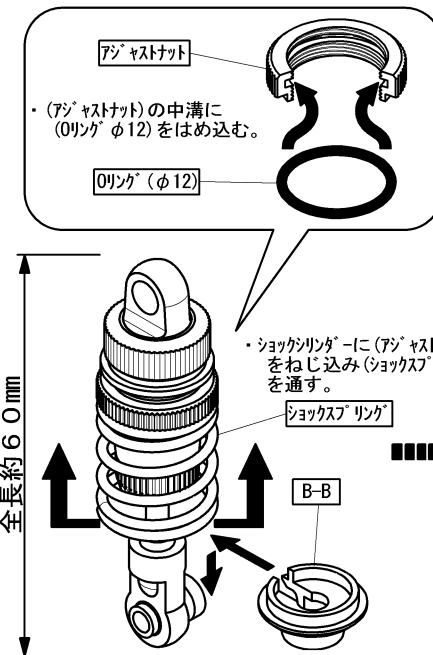
・ ショックシリンダーにショックオイルを入れ、シャフトを
上下にゆっくりと動かし気泡を抜く。

・ シリンダーの口元いっぱいまでショックオイルを入れる。
(気泡を入れないように注意！)

・ ショックシリンダーにティッシュペーパーを巻き付け
(タイヤフロム) をいっぱいまでかぶせ
(インナーネジ) をネジミに置く。

・ (キャップエンド) に (キャップナット) を
被せ、しめ込む。

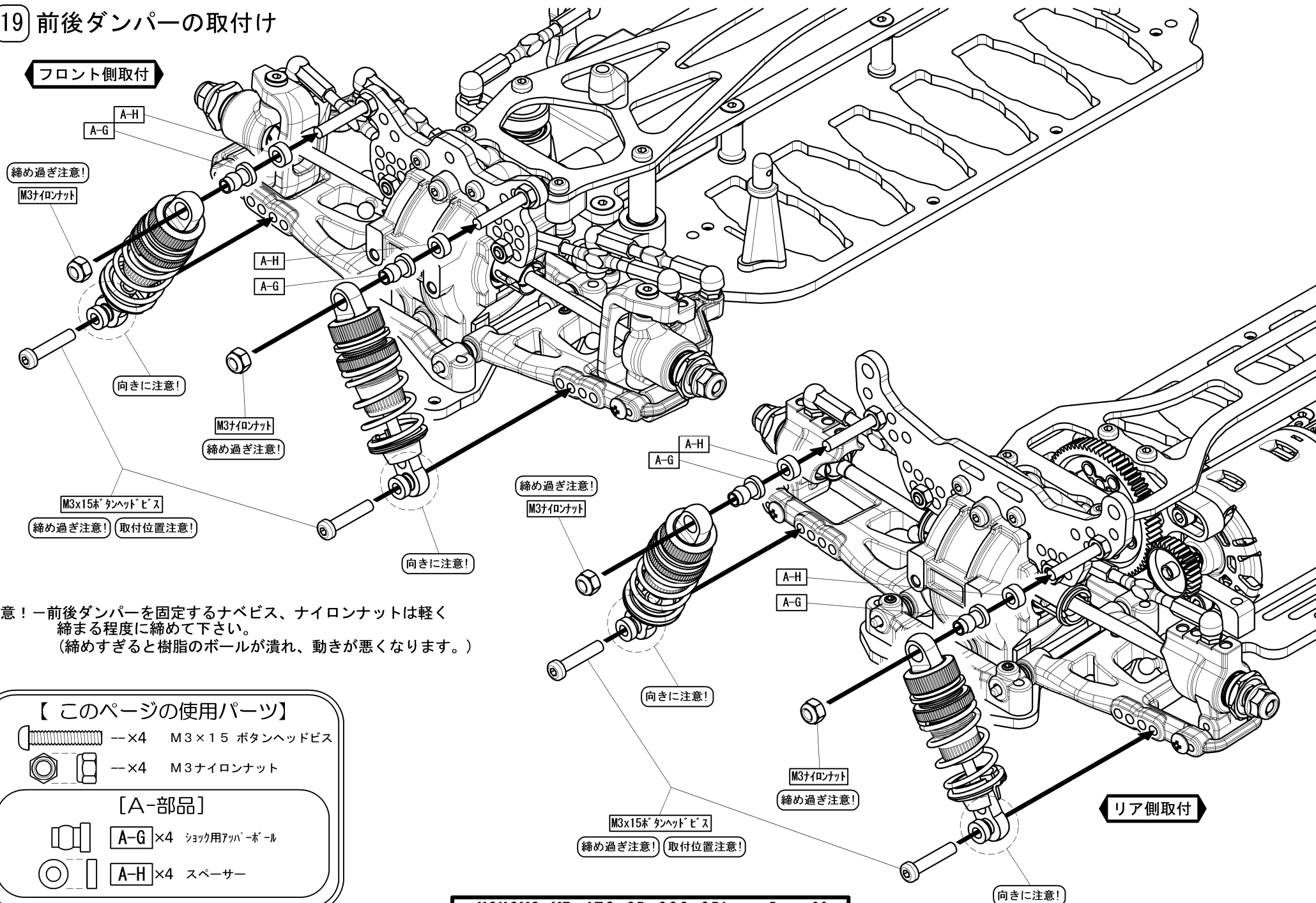
・ ショックスプリングを押し上げながら (B-B) をシャフトにはめ込む。
はめ込んだ状態でダンパー全長を測り、約60mmになる
様に (B-AS) のねじ込み量を調整する。
(全長を測る時は必ずシャフトが全て伸びた状態で行って下さい。)



ダンパー
の完成！

19 前後ダンパーの取付け

フロント側取付

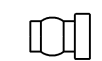


注意！一前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く締まる程度に締めて下さい。
(締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。)

【このページの使用パーツ】

-  —×4 M3×15 ボタンヘッドビス
-  —×4 M3ナイロンナット

【A-部品】

-  **A-G**×4 ショック用アッパースボール
-  **A-H**×4 スパースー

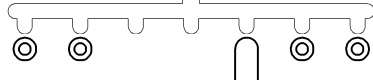
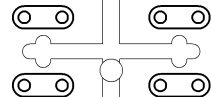
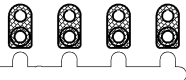
【 袋一⑫ の内容 】

- | | | |
|---|------|----------------|
|  | --X4 | M3×3 セットスクリュー |
|  | --X4 | M3×4 セットスクリュー |
|  | --X4 | M3×12 セットスクリュー |
|  | --X4 | M3×8 ボタンヘッドビス |
|  | --X4 | アンチロールバーボール |
|  | --X4 | ボールエンドキャップ |
|  | --X4 | ボールエンド |

--X2 アンチロールバー



アンチロールバーホルダー



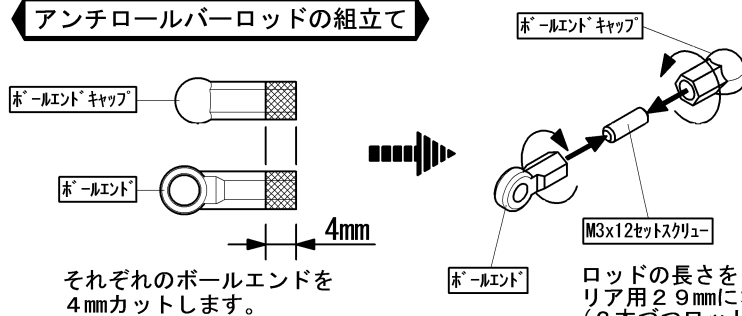
■部の部品を使用します。

前後ロアアームのボール部に組立済ロッドをはめ込み、ボールエンドの向きを調整します。アンチロールバーをアンチロールバーボールに通し、アンチロールバーホルダーをミッションケースキャップに固定します。ホルダーにM3×4セットスクリューをロールバーにガタが出ない程度ねじ込み、ロールバーボールのセットスクリューをねじ込み、ロールバーを固定させます。

注意！ アンチロールバーホルダーのセット
 スクリューはしめ過ぎないで下さい。
 アンチロールバーの動きが悪くなり
 走行性能に影響します。

〔20〕 フロント&リアハブキャリアの組立て

アンチロールバーロッドの組立て



Technical drawing of a front door handle. The drawing shows a vertical handle with a circular knob at the top and a rectangular base at the bottom. To the right of the handle, there are two vertical dimension lines with arrows. The top dimension line is labeled 'フロント用 27mm' (Front use 27mm). The bottom dimension line is labeled 'リア用 29mm' (Rear use 29mm).

(仮止程度にねじ込め)

M3x3セットスクリュー

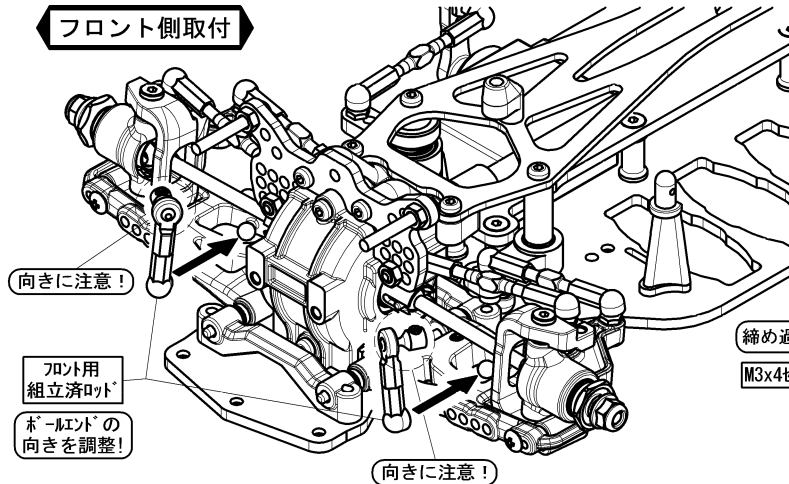
アンチロールバーホル

組立済ロッド

ボールエント側

アンチロールバーボールに組立済ロッド
をはめ込み、M3 x 3セットスクリュー
を仮止めします。

フロント側取付



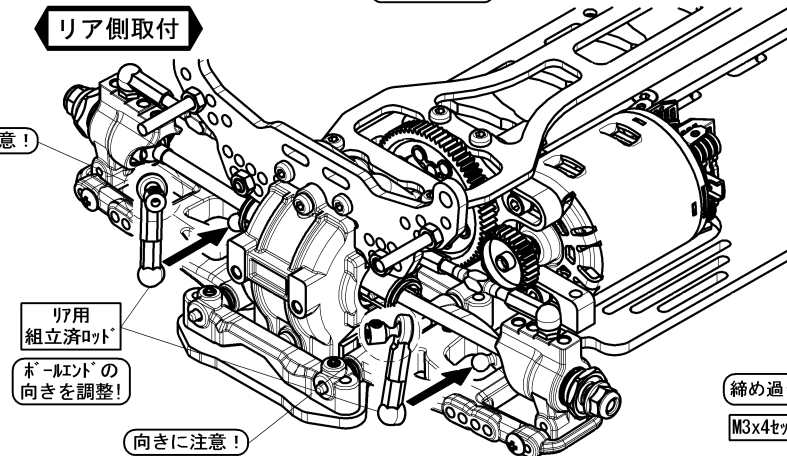
締め過ぎ注意!

M3×4セットスクリュー

M3x8ボルトナットビス

アンチロールバールホルダー

リア側取付



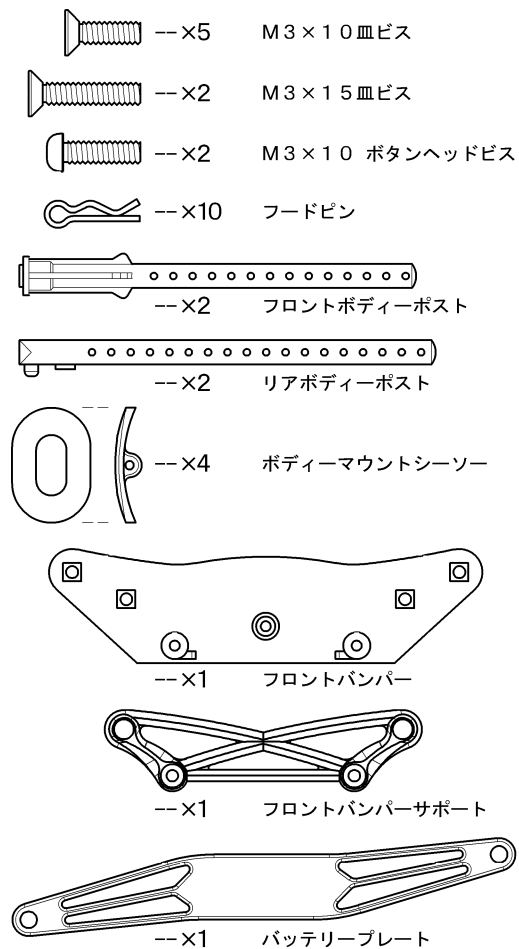
締め過ぎ注意!

M3x4セットスクリュー

M3x8ボルト・タンヘット・ビス

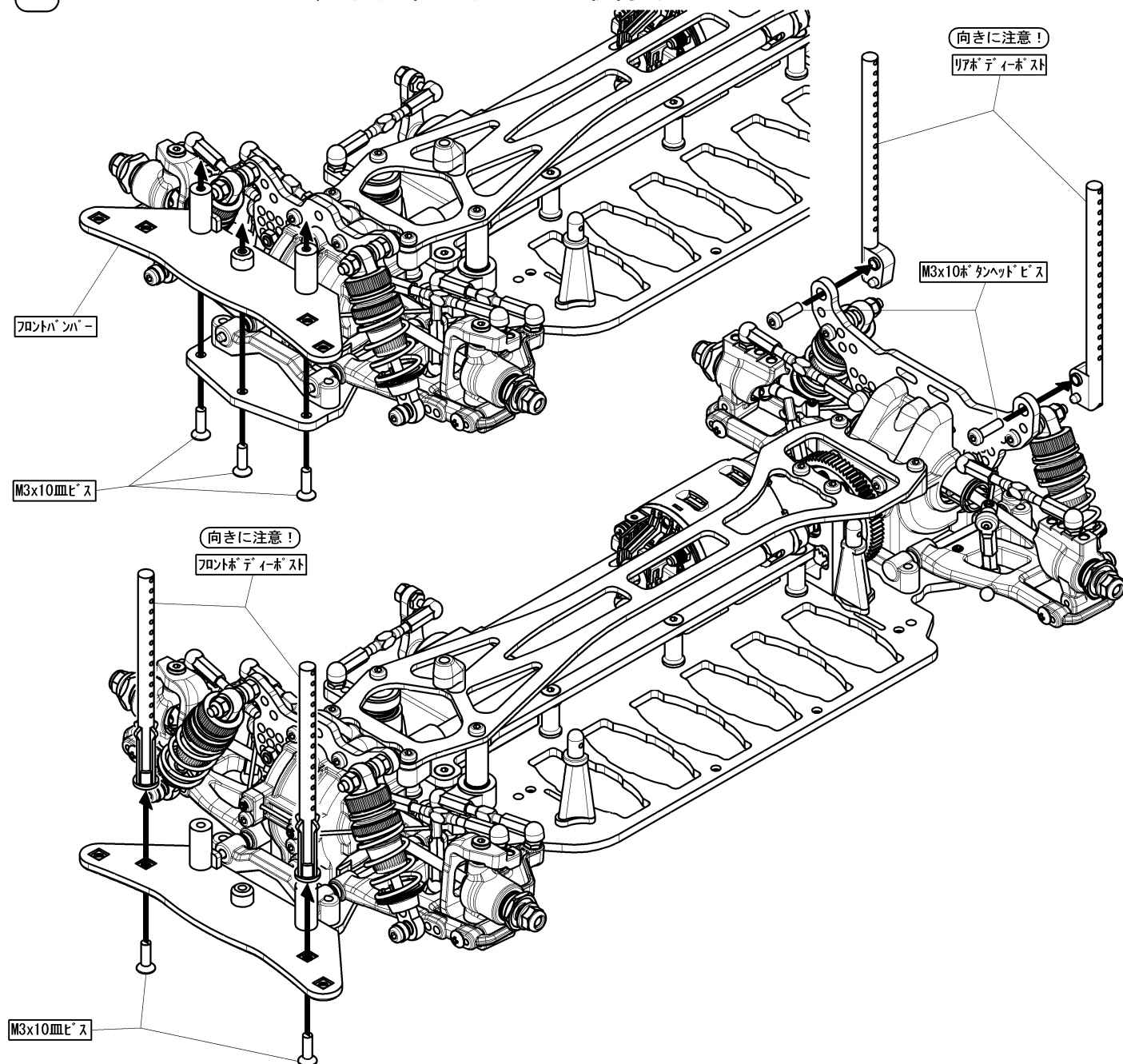
アンチロールバーホルダー

【 袋-⑬ の内容 】

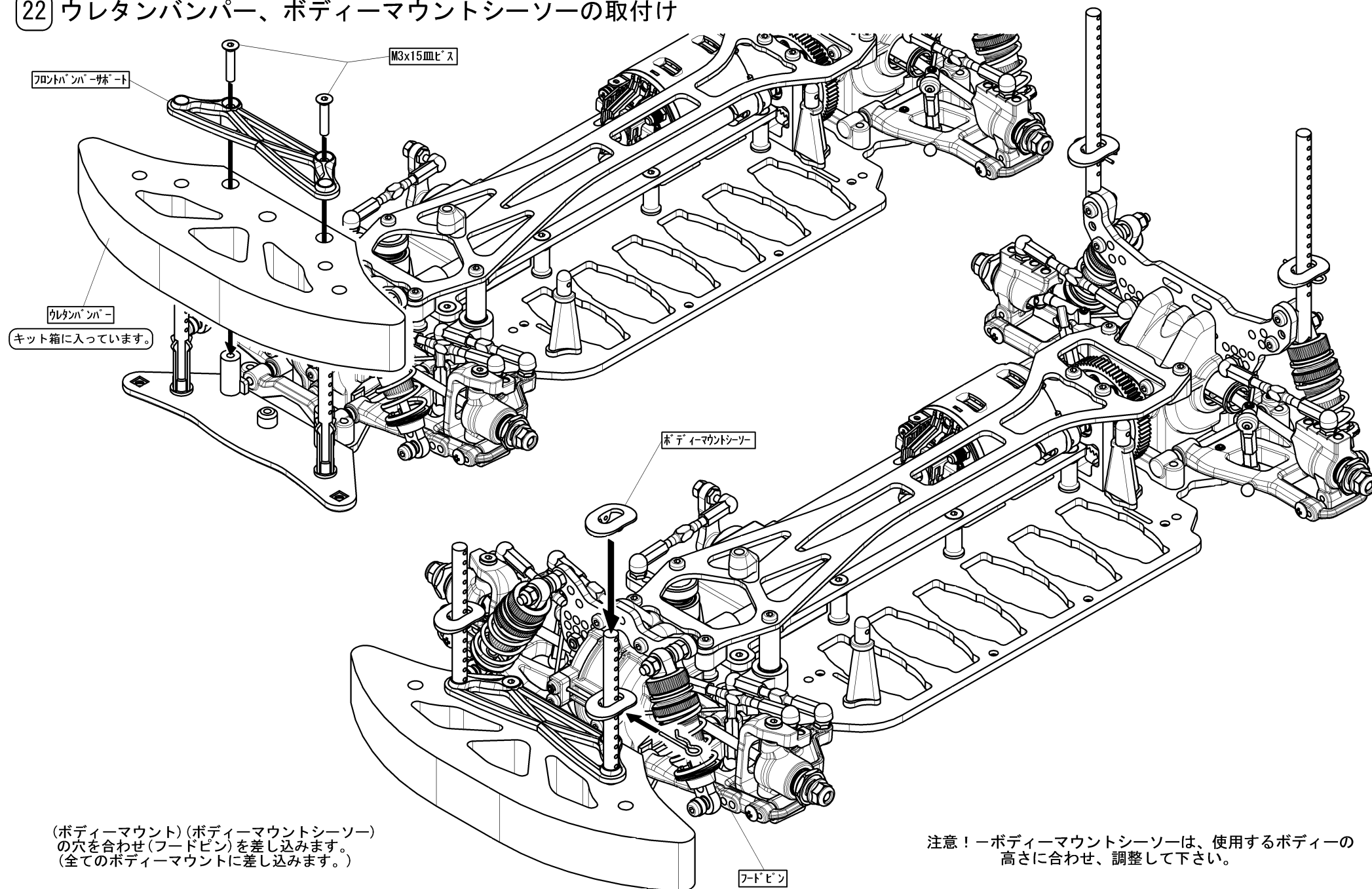


その他、アンテナキャップ、両面テープ
 ハイト&ドループゲージ 各1ヶ

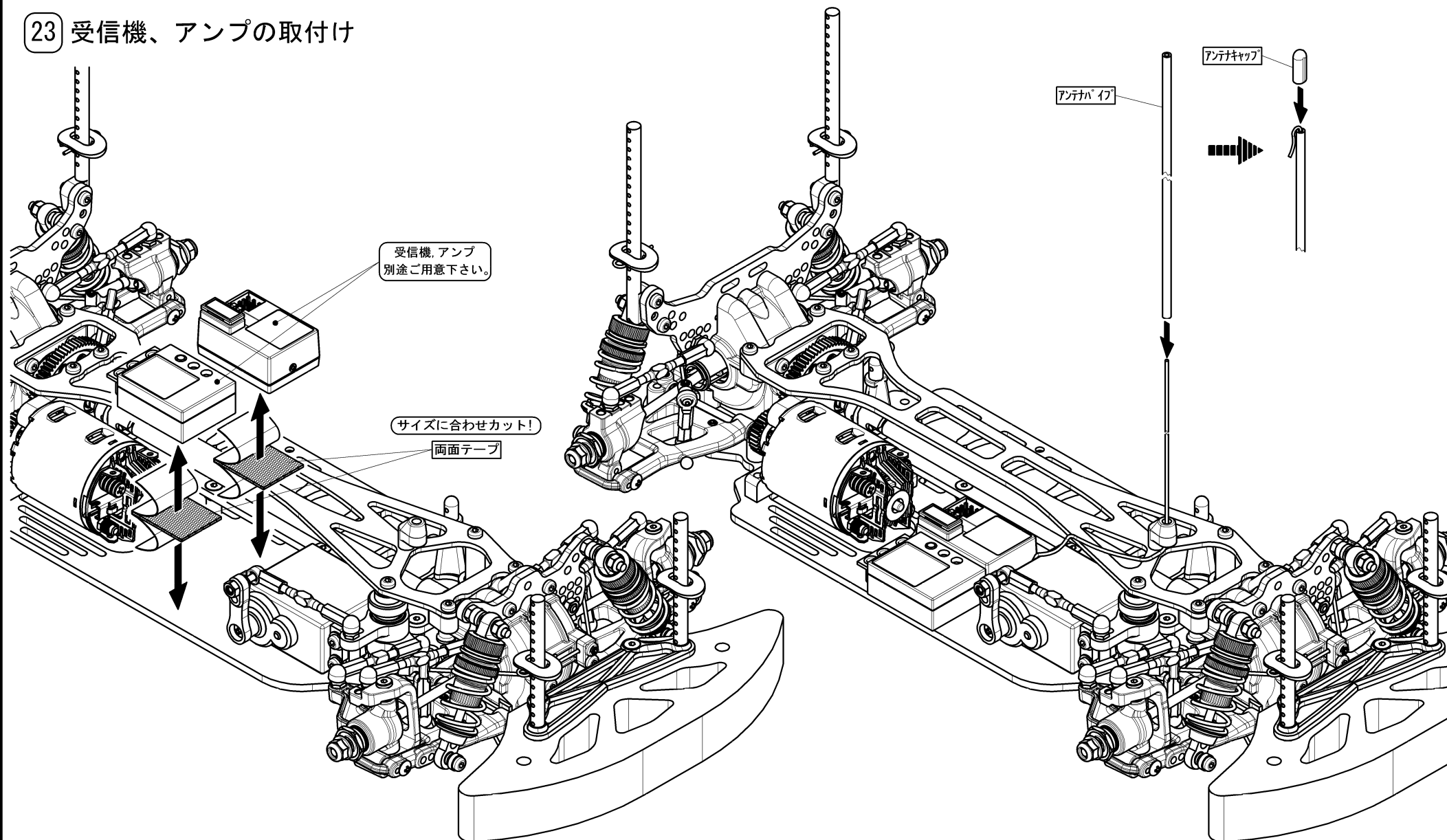
21 フロントバンパー、ボディーポストの取付け



22 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け



23 受信機、アンプの取付け



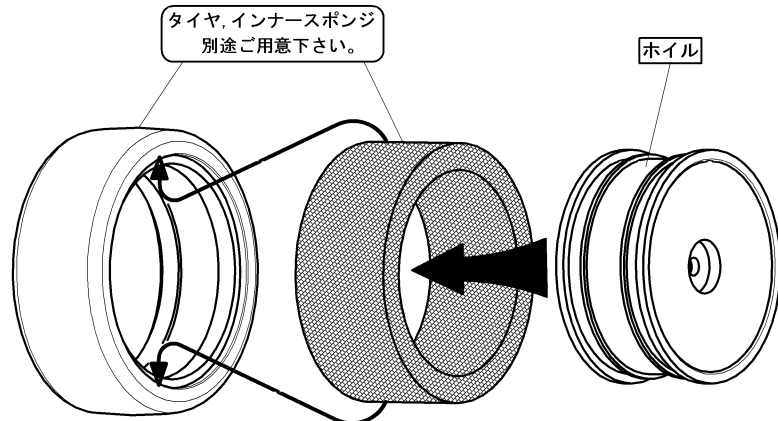
注意! ①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておく、はがれにくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。

注意! ②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

24 タイヤの接着、ホイールハブの取付け

タイヤにインナー spons ジを押込み、タイヤのリブをホイールのミゾにはめ込みます。
(ホイールはキット箱に入っています。タイヤ、インナー spons ジは別途ご用意下さい。)



タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。

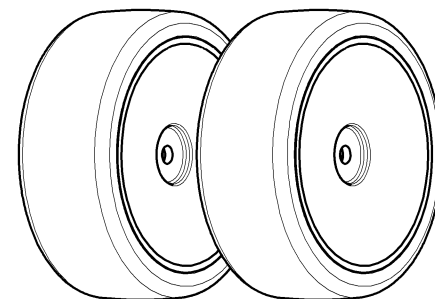
瞬間接着剤
別途ご用意下さい。



【取付け前にちょっと注目！】

各路面に対応できる、タイヤ、ホイール、インナー spons ジ、インナーモールドなどを各種ラインナップしております。

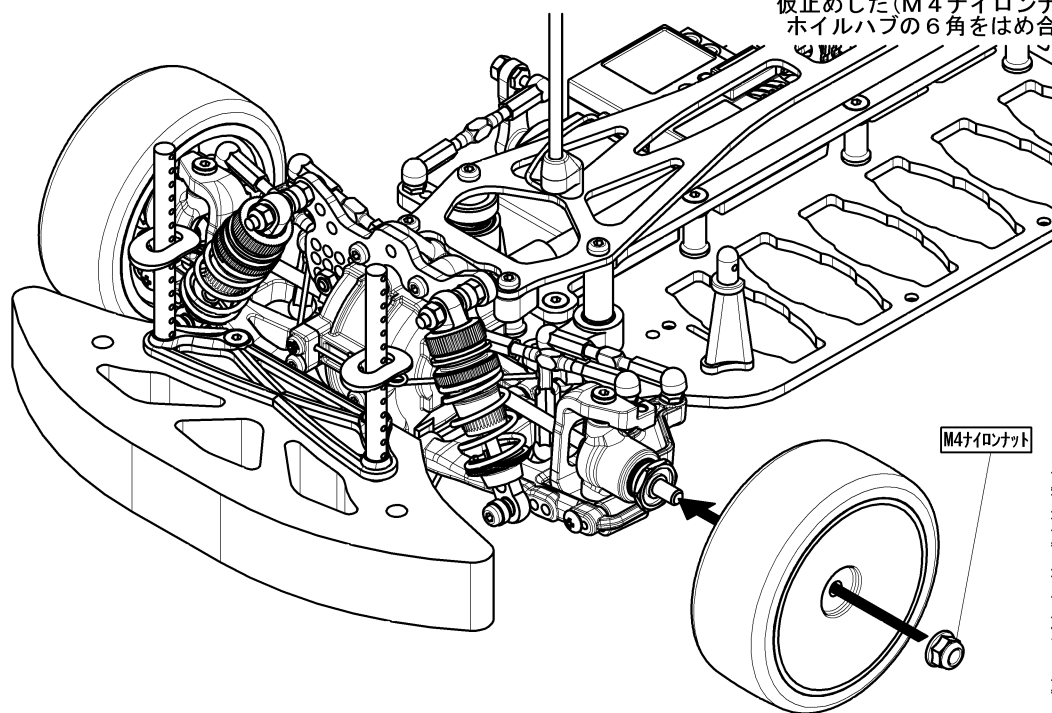
各商品の詳しい情報は「ヨコモ 総合カタログ」もしくは「ヨコモホームページ <http://www.teamyokomo.com>」をご覧ください。



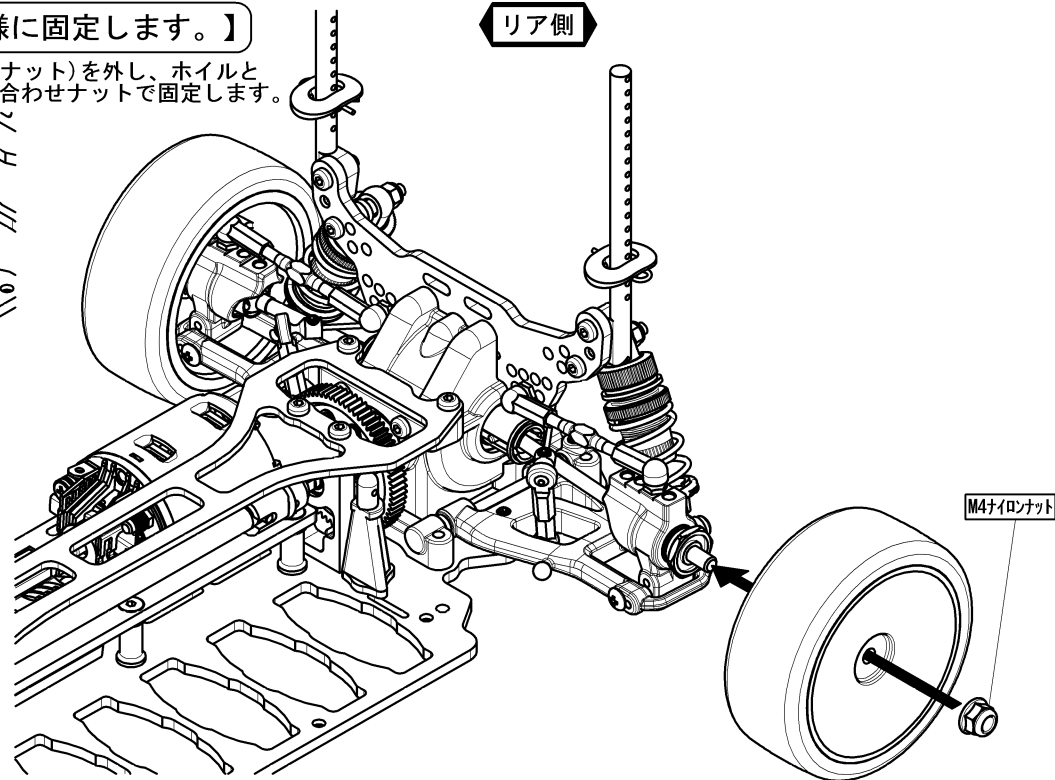
フロント側

【反対側も同じ様に固定します。】

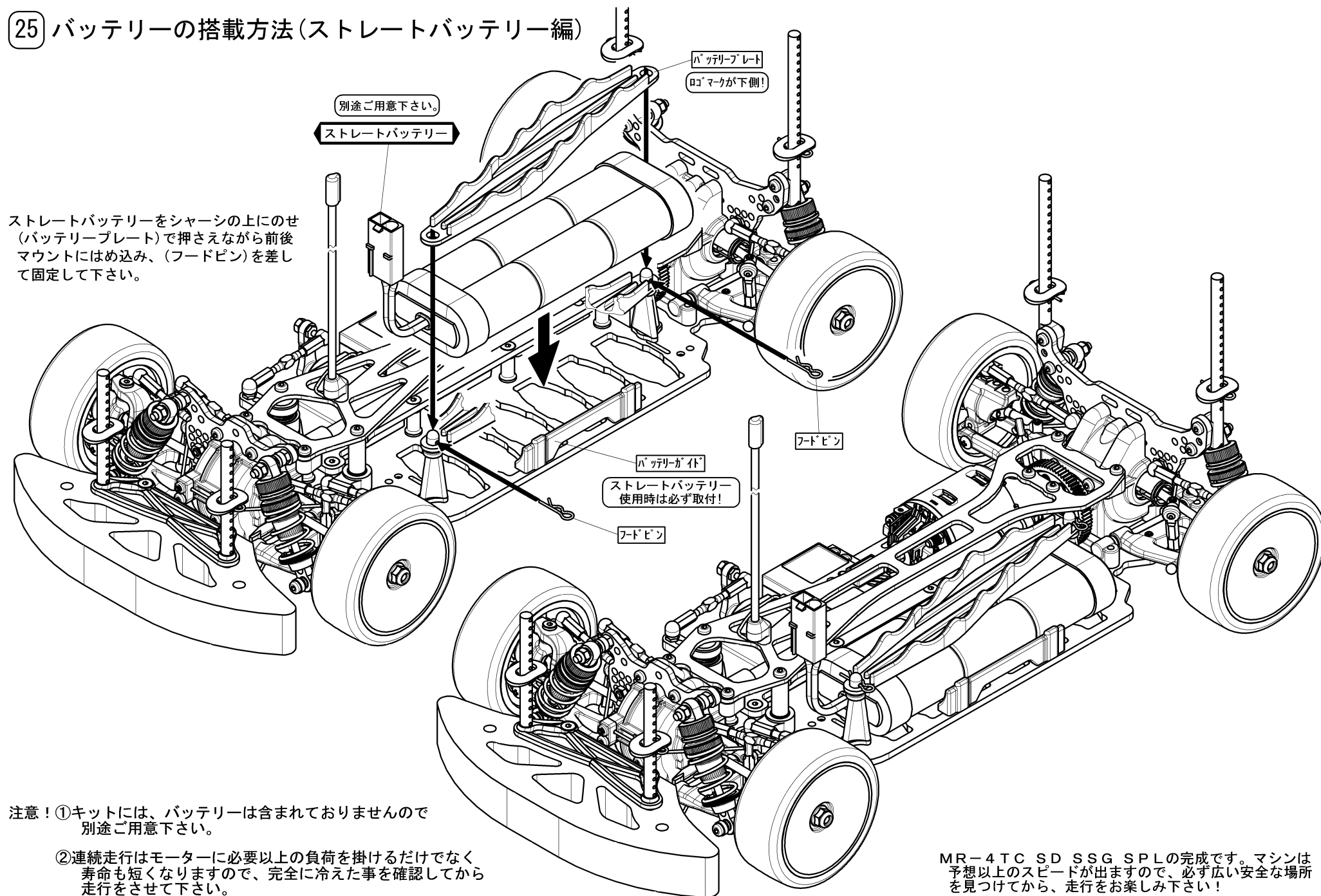
仮止めた(M4ナイロンナット)を外し、ホイールとホイールハブの6角をはめ合わせナットで固定します。



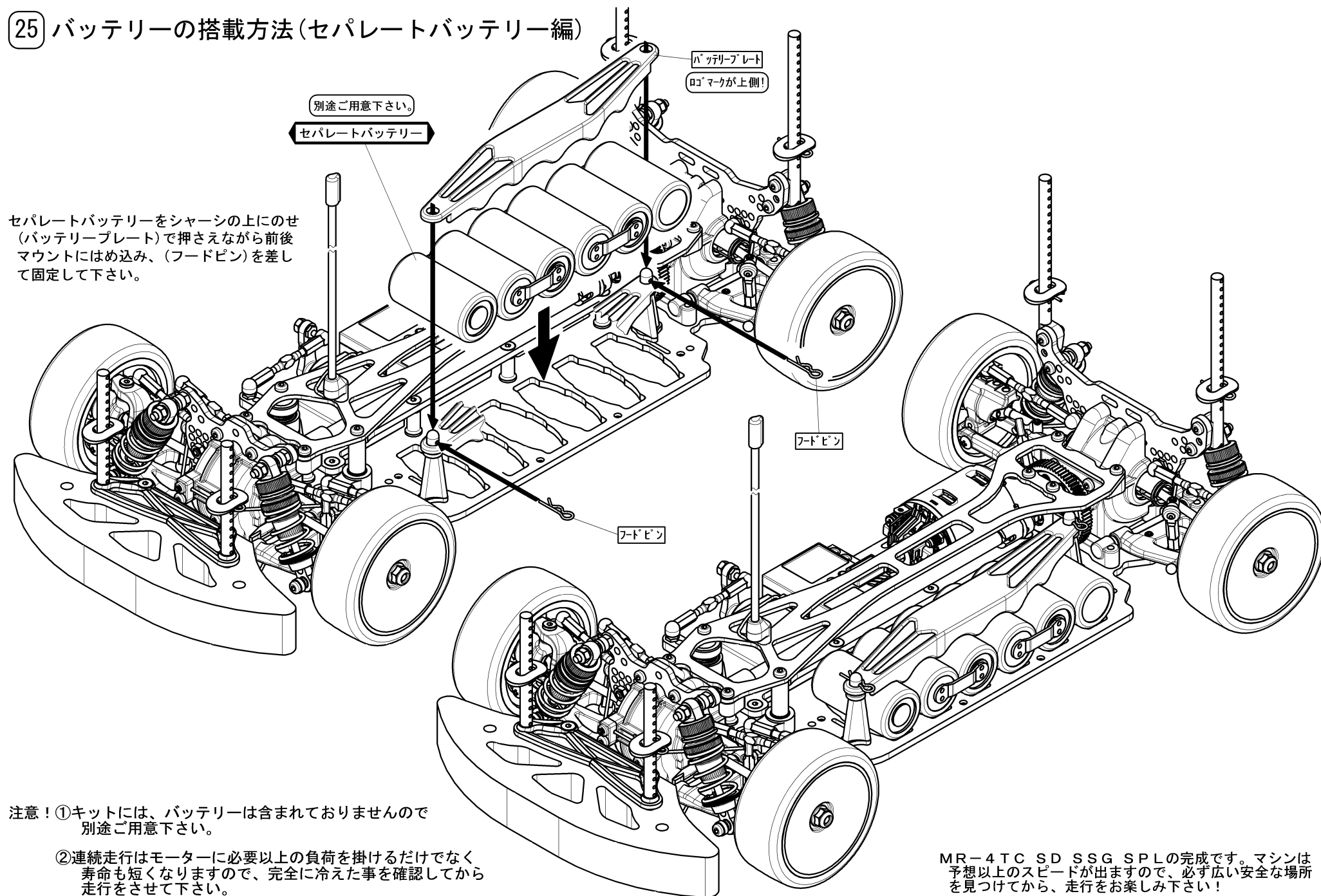
リア側



25 バッテリーの搭載方法(ストレートバッテリー編)



25 バッテリーの搭載方法(セパレートバッテリー編)



*As a manufacturer of World Championship winning cars,
Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.
Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.*

Yokomo

World Champions
YOKOMO

世界のトップ YOKOMO
ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、ヨーロッパ選手権、そしてF1/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.teamyokomo.com>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）

Yokomo
USA

YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA. 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657